

### 3 仕事と生活（家庭生活や地域活動、個人の生活）の両立について

#### (1) 仕事の有無

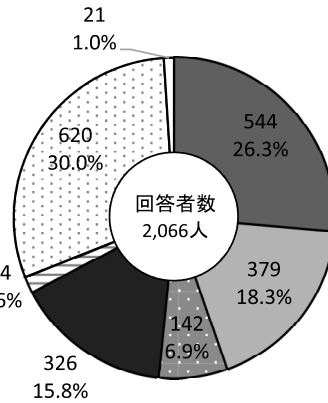
問 12 あなたは仕事をされていますか。(1つ選択)

- |              |                        |
|--------------|------------------------|
| 1 正規雇用者      | 2 非正規雇用者（パート・アルバイト・嘱託） |
| 3 自営業主・家族従事者 | 4 専業主婦・主夫              |
| 5 学生         | 6 無職                   |

仕事について、「正規雇用者」が26.3%、「非正規雇用者（パート・アルバイト・嘱託）」が18.3%、「自営業主・家族従事者」が6.9%で、収入を伴う”仕事をしている”割合の合計は51.5%となっている。

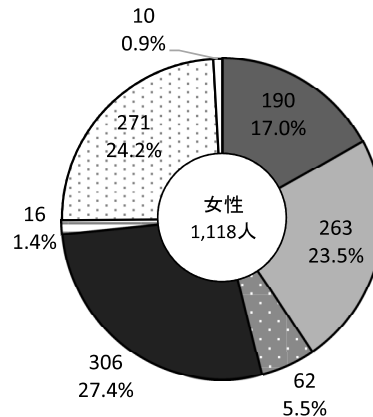
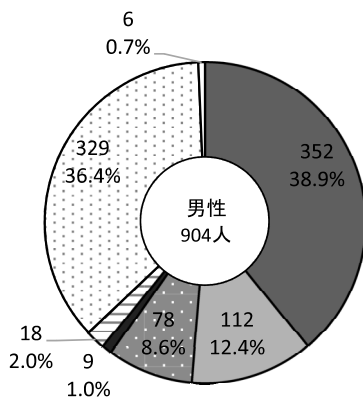
一方、「無職」が30.0%、「専業主婦・主夫」15.8%、「学生」1.6%で、収入を伴う”仕事をしていない”割合の合計は、47.4%となっており、仕事の有無が概ね半数ずつに分かれている。

問 12 現在の仕事



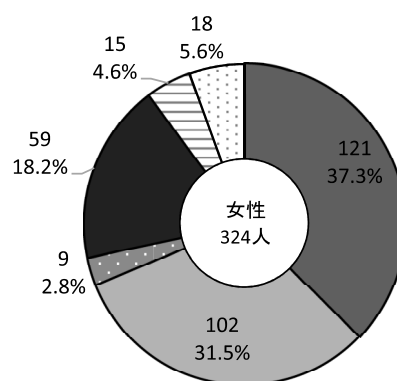
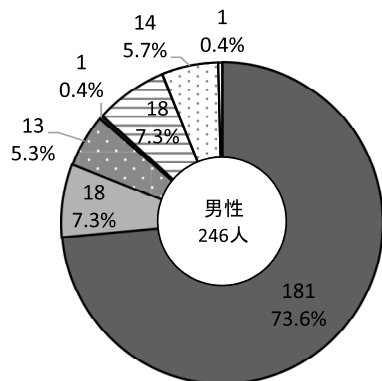
- 正規雇用者
- 非正規雇用者(パート・アルバイト・嘱託)
- 自営業主・家族従事者
- 専業主婦・主夫
- 学生
- 無職
- 不明

問 12 現在の仕事【男女別】



- 正規雇用者
- 非正規雇用者(パート・アルバイト・嘱託)
- 自営業主・家族従事者
- 専業主婦・主夫
- 学生
- 無職
- 不明

問 12 現在の仕事【男女別・50歳未満】



- 正規雇用者
- 非正規雇用者(パート・アルバイト・嘱託)
- 自営業主・家族従事者
- 専業主婦・主夫
- 学生
- 無職
- 不明

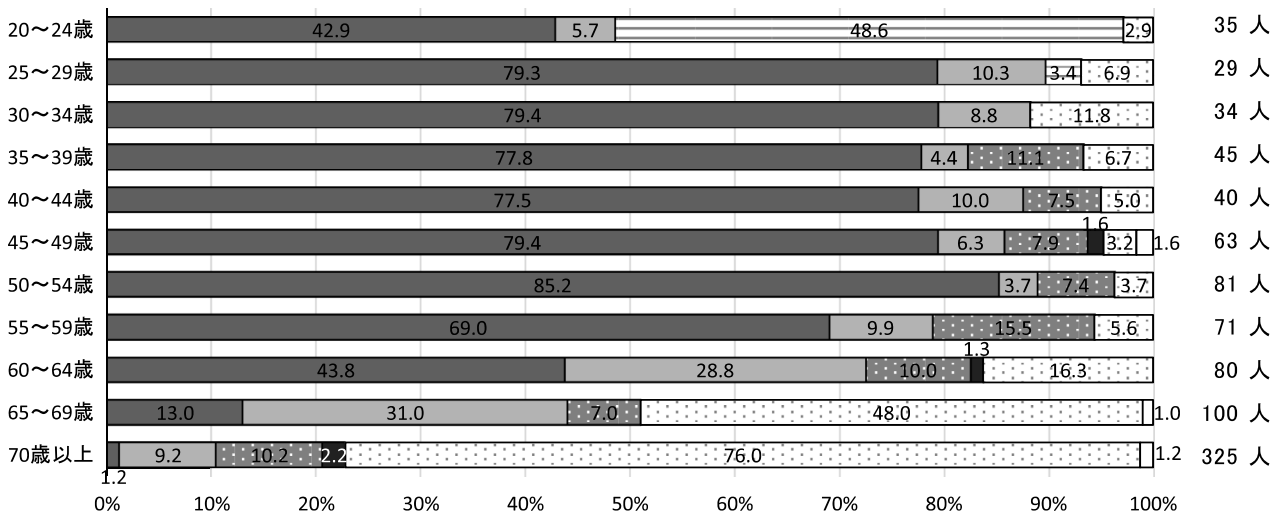
男女別にみると、男性で収入を伴う“仕事をしている”割合の合計は、男性が59.9%、女性が46.0%で、男性の方が13.9ポイント高く、このうち、男性では「正規雇用者」が4割程度だが、女性では「正規雇用者」はその半分程度の割合となっている。

また、“仕事をしていない”割合の合計は、男性が39.4%、女性が53.0%で、女性の方が13.6ポイント高くなっている。このうち、女性では、「専業主婦」の割合が約3割となっている。

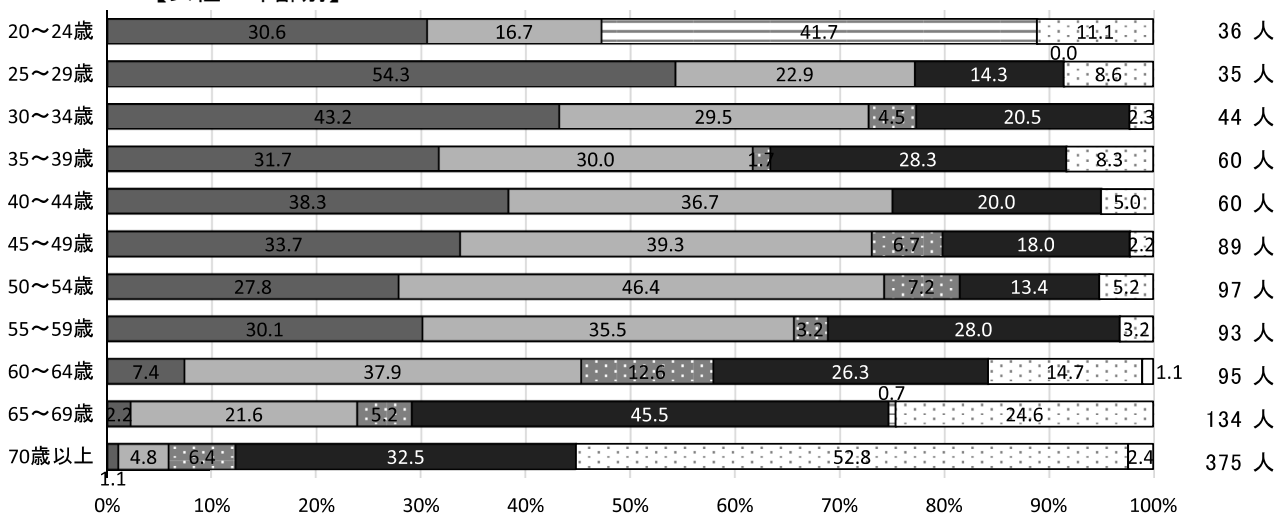
50歳未満でみると、“仕事をしている”割合の合計は、男性が86.2%、女性が71.6%で男女共に割合が高いが、このうち「正規雇用者」は、男性で7割を超えるものの、女性は4割弱となっている。

## 問12 現在の仕事

### 【男性・年齢別】



### 【女性・年齢別】



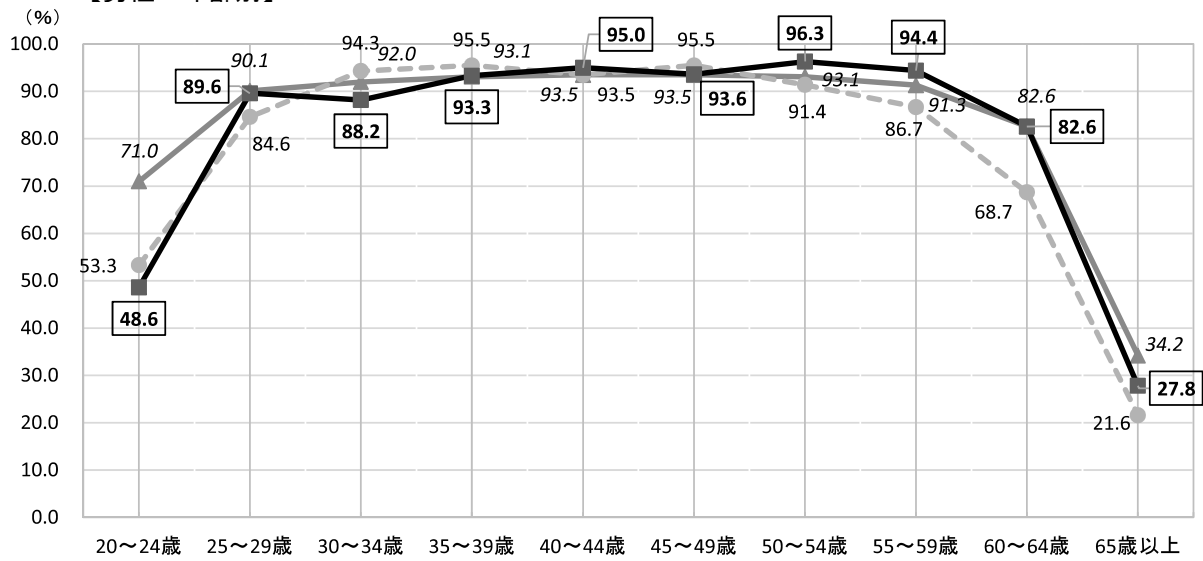
- 正規雇用者
- 自営業主・家族従事者
- 学生
- 不明
- 非正規雇用者(パート・アルバイト・嘱託)
- 専業主婦・主夫
- 無職

男女別・年齢別にみると、“仕事をしている”割合は、男性の20代後半から50代の現役世代では、概ね9割かそれ以上となっている。

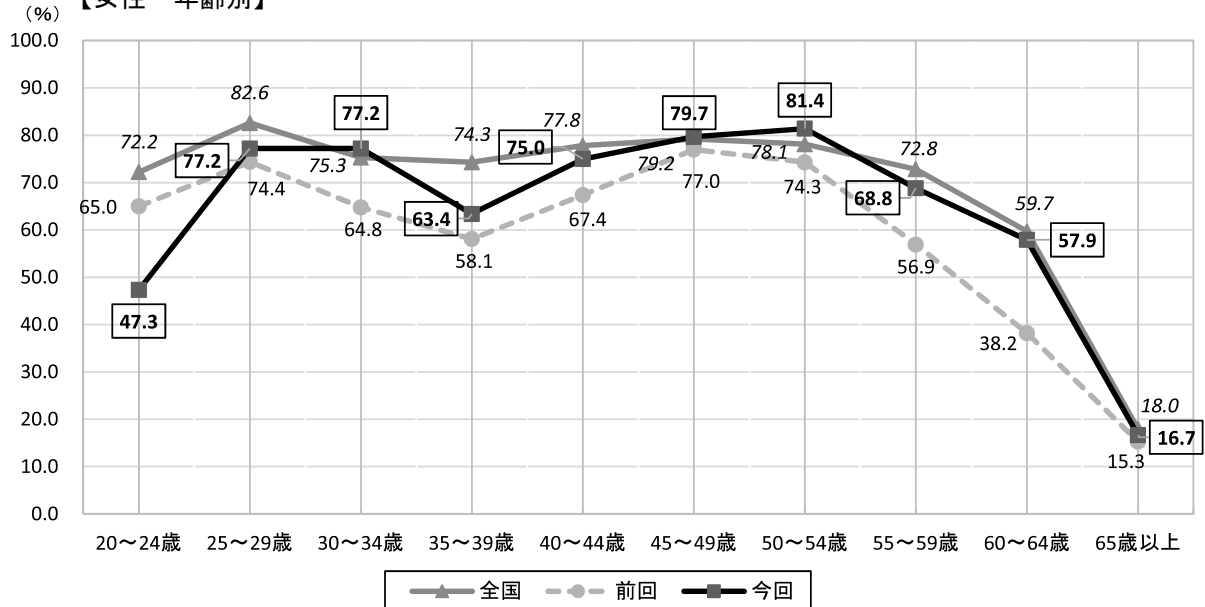
一方、女性では20代後半から30代前半、40代後半から50代前半で7割を超えるものの、30代後半では“仕事をしている”割合が低く、「専業主婦」の割合が高くなっており、子育てにシフトしている人が多いことがうかがえる。

## 就業率の変化

### 【男性・年齢別】



### 【女性・年齢別】



(※全国：労働力調査（令和2年）)

男女別・年齢別に本調査での就業率（「正規雇用者」「非正規雇用者」「自営業主・家族従事者」の割合の合計）の変化をみると、男性では、概ね全国と同じ就業率の曲線を描いている。ちなみに、本市で20~24歳で就業率が低いのは学生の回答割合が高いことが影響している。前回調査ともほぼ同じ曲線だが、今回調査では55歳以上の年齢層で就業率が前回よりも増加しており、定年後も働く人が増加していることがうかがえる。

一方、女性では、前回調査と比較すると、概ね全年齢層で就業率が増加し、働く女性が増えていることがわかる。しかし、全国と比較して35~39歳で特に就業率が低く、前回調査よりは緩やかではあるもののM字型の曲線を描いており、出産・育児等を契機に離職する女性が多いことが考えられる。また、20~24歳で就業率が低いのは、男性と同様に学生の回答割合が高いことが影響しており、女性の大学進学率増加が背景にあることが考えられる。

【※ 問 12 で「1~3」と回答した方】

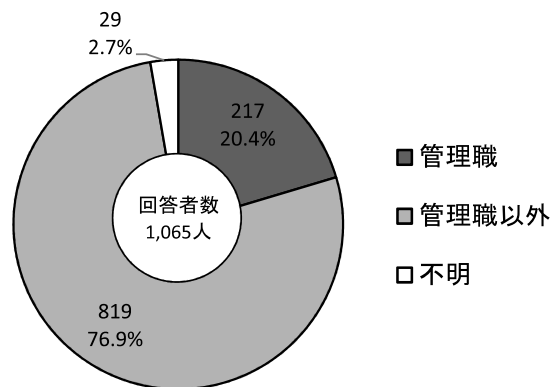
問 12-1 あなたの仕事の内容は何ですか。(1つ選択)

1 管理職

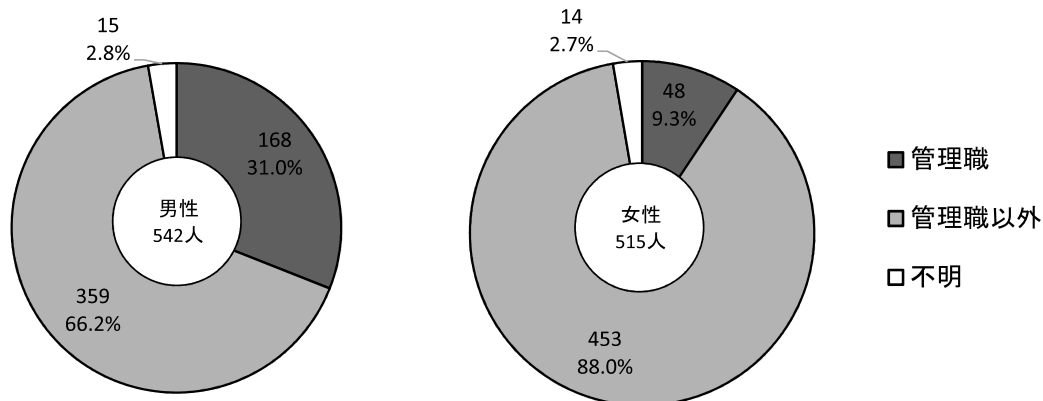
2 管理職以外

収入を伴う“仕事をしている”人について、仕事の内容をみると、「管理職」が20.4%、「管理職以外」が76.9%となっている。

問 12-1 仕事の内容



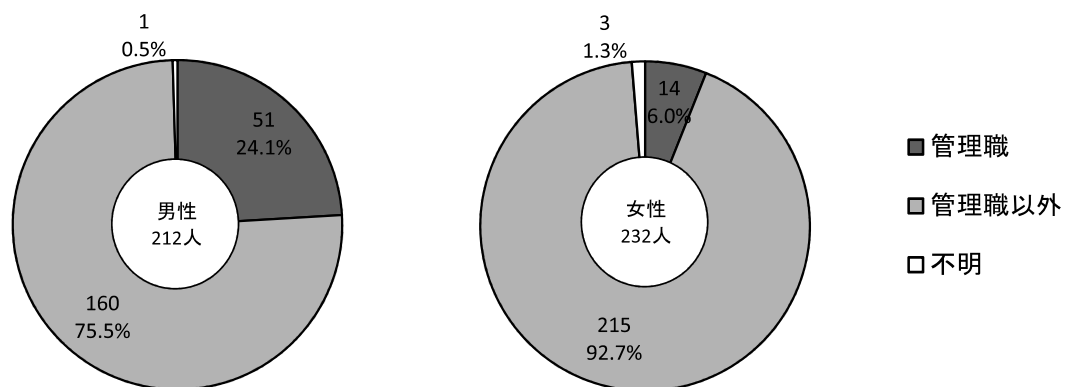
問 12-1 仕事の内容【男女別】



男女別にみると、「管理職」は男性で31.0%、女性で9.3%と、女性では1割を切っている。

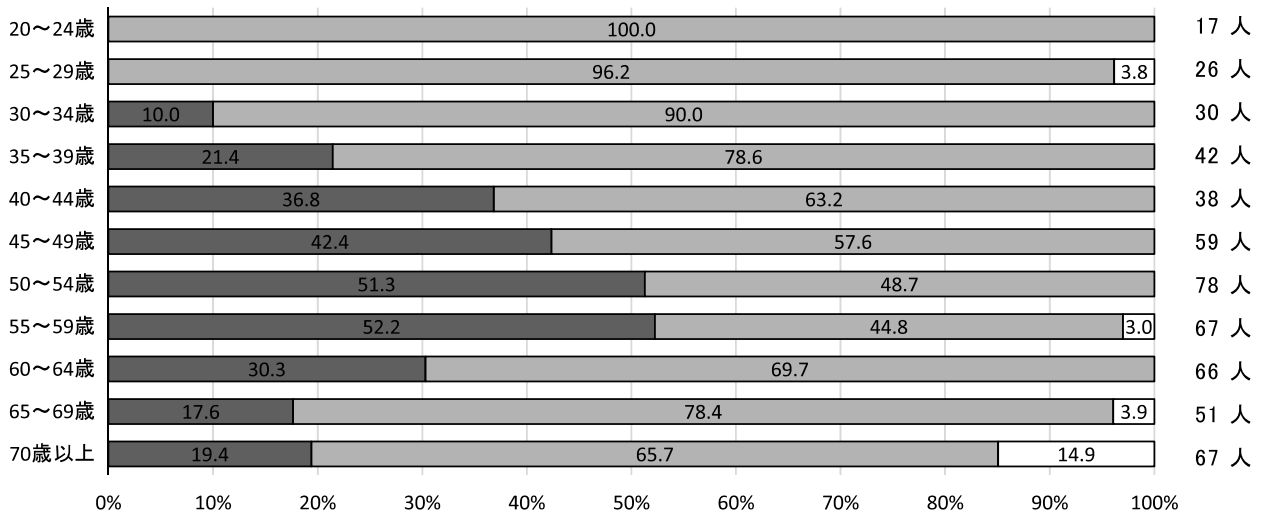
50歳未満でみると、「管理職」の割合は低くなり、男性で24.1%、女性で6.0%と、女性ではさらに低い割合となっている。

問 12-1 仕事の内容【男女別・50歳未満】

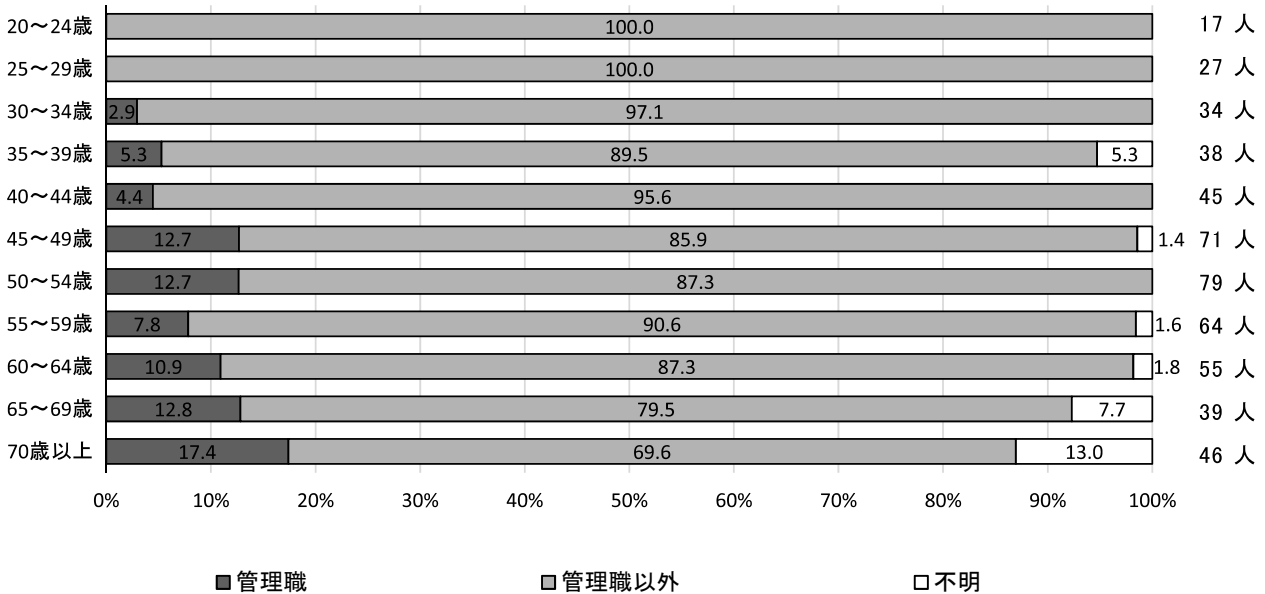


問 12-1 仕事の内容

【男性・年齢別】



【女性・年齢別】



男女別・年齢別にみると、男性では年齢を重ねるごとに「管理職」の割合が高くなり、50代がピークで約半数に達している。

一方、女性では40代後半、50代前半、60代以上の年齢層でそれぞれ1割を若干超えるものの、それ以上高い数値はみられず、女性管理職の割合はまだ低い状態にある。

## (2) 配偶者の職業

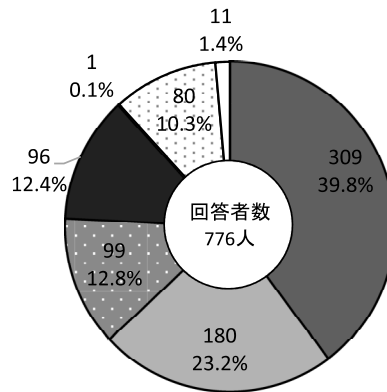
【※問 12 で「1~3」かつ F3 で「既婚」と回答した方】

問 13 配偶者は仕事をされていますか。(1つ選択)

- |              |                         |
|--------------|-------------------------|
| 1 正規雇用者      | 2 非正規雇用者 (パート・アルバイト・嘱託) |
| 3 自営業主・家族従事者 | 4 専業主婦・主夫               |
| 5 学生         | 6 無職                    |

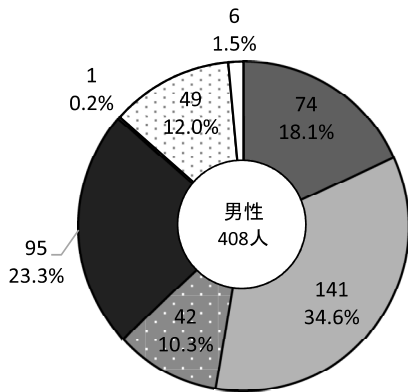
配偶者の仕事については、「正規雇用者」が 39.8%、「非正規雇用者 (パート・アルバイト・嘱託)」が 23.2%、「自営業主・家族従事者」が 12.8%で、収入を伴う「仕事をしている」割合の合計は 75.8%となっている。

問 13 配偶者の仕事



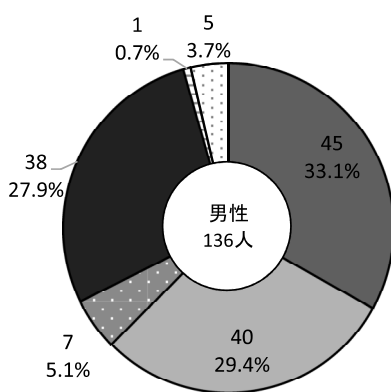
- 正規雇用者
- 非正規雇用者 (パート・アルバイト・嘱託)
- 自営業主・家族従事者
- 専業主婦・主夫
- 学生
- 無職
- 不明

問 13 配偶者の仕事【男女別】



- 正規雇用者
- 非正規雇用者 (パート・アルバイト・嘱託)
- 自営業主・家族従事者
- 専業主婦・主夫
- 学生
- 無職
- 不明

問 13 配偶者の仕事【男女別・50歳未満】



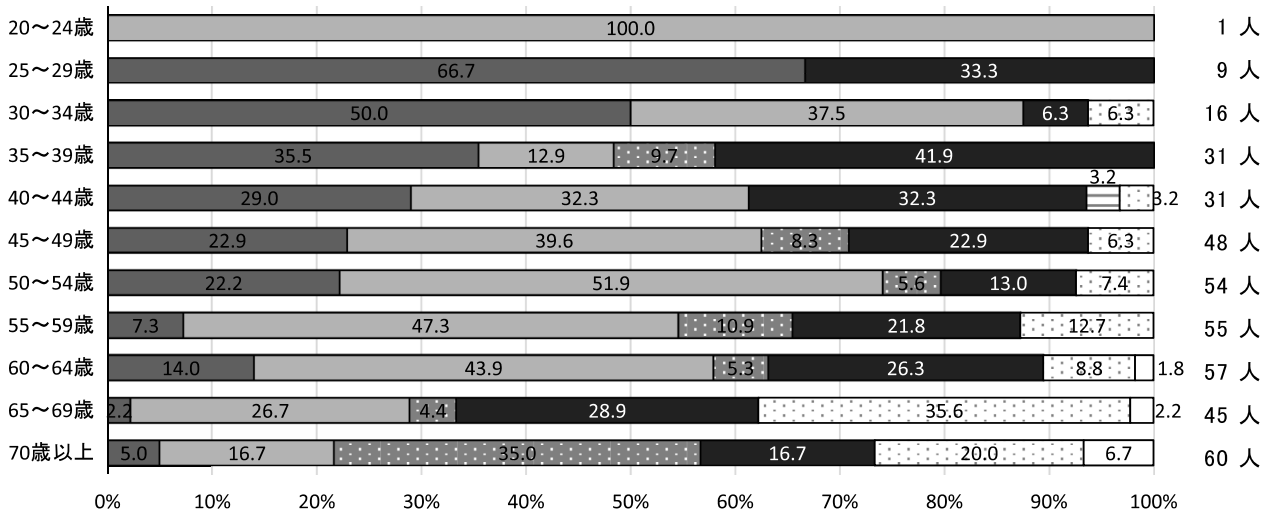
- 正規雇用者
- 非正規雇用者 (パート・アルバイト・嘱託)
- 自営業主・家族従事者
- 専業主婦・主夫
- 学生
- 無職
- 不明

男女別にみると、「仕事をしている」割合の合計は男性の配偶者で63.0%、女性の配偶者で90.6%となっている。

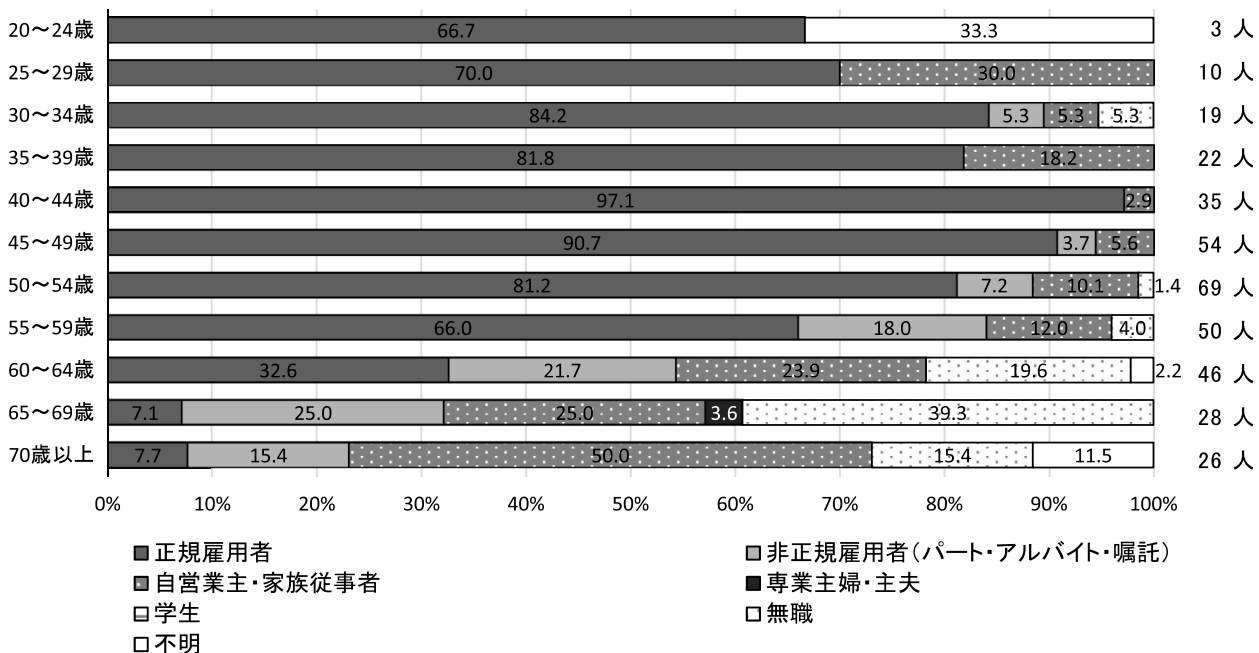
50歳未満でみると、「仕事をしている」割合の合計は男女共に全体よりも高くなり、特に「正規雇用者」の割合は、男性の配偶者で33.1%、女性の配偶者で88.1%となっている。

### 問13 配偶者の仕事

#### 【男性・年齢別】



#### 【女性・年齢別】



男女別・年齢別にみると、男性の配偶者では、「正規雇用者」の割合が、年齢層が若いほど高い傾向にあり、20代後半では約7割となっている。

一方、女性の配偶者では、40代前半で「正規雇用者」の割合が最も高くなり、50代前半から年齢が上がるにつれて徐々に「非正規雇用者」や「自営業主・家族従事者」の割合が増加している。

### (3) 家事と仕事の時間

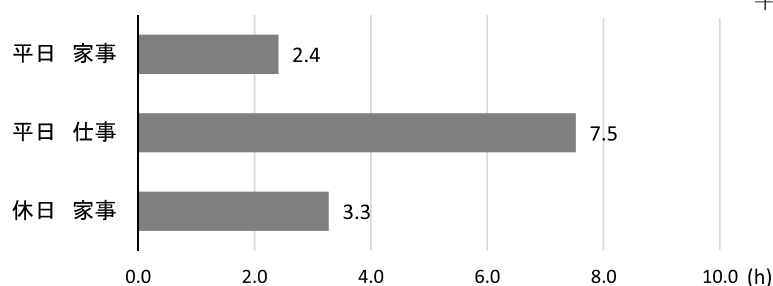
【※ 問 12 で「1~3」と回答した方】

問 14 あなたが 1 日に行う家事（育児や介護を含む）の時間と、仕事（収入を得るための労働）の時間は、それぞれ平均どの位ですか。（数字を記入）

平日	1 家事（1日平均）	（            ）時間（            ）分
	2 仕事（1日平均）	（            ）時間（            ）分
休日	3 家事（1日平均）	（            ）時間（            ）分

問 14 家事と仕事の労働時間（平均）

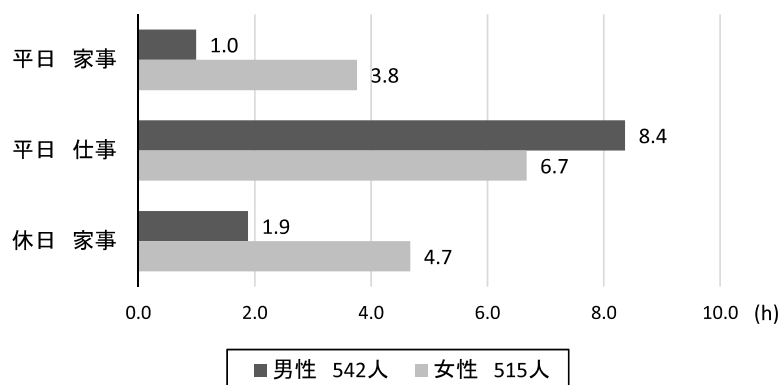
※労働時間（平均）：それぞれ無回答を除いて平均を算出（以下同様）



回答者数 1,065人

収入と伴う仕事についている回答者の家事（育児や介護を含む）と仕事の1日の労働時間（平均）をみると、平日の「家事」が2.4時間、「仕事」が7.5時間、休日の「家事」が3.3時間となっている。

問 14 家事と仕事の労働時間（平均）【男女別】

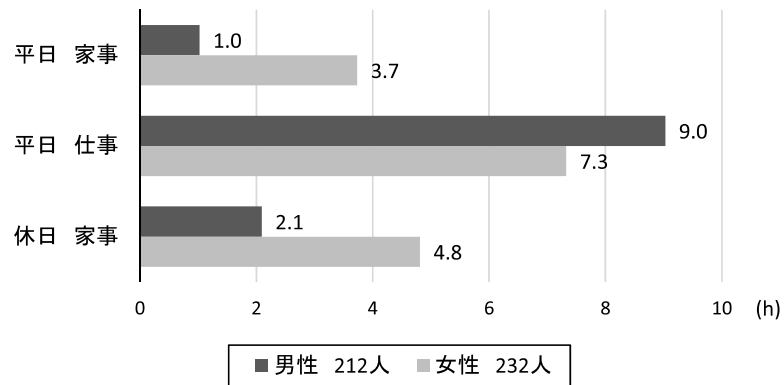


男女別にみると、男性は平日の「家事」が1.0時間、「仕事」は8.4時間であり、一方、女性は平日の「家事」は3.8時間、「仕事」は6.7時間となっている。女性は男性に比べ、「仕事」は1.7時間少ないものの、「家事」は2.8時間多くなっている。

また、休日の「家事」についても同様に、男性が1.9時間、女性が4.7時間で、女性の方が2.8時間多くなっている。



問 14 家事と仕事の労働時間(平均)【男女別・50歳未満】

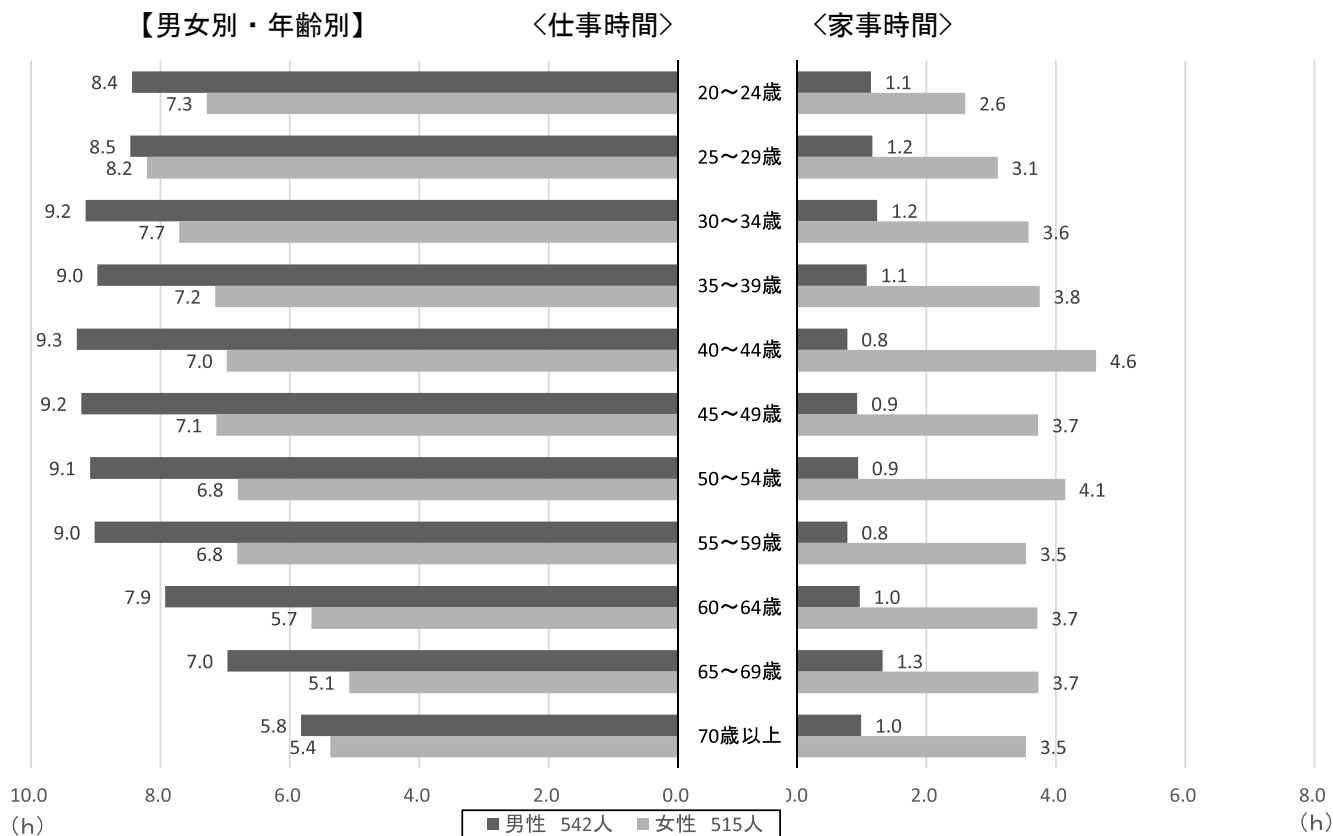


50歳未満でも、全体と同様の傾向がある。男性は平日の「家事」が1.0時間、「仕事」は9.0時間であり、一方、女性は平日の「家事」は3.7時間、「仕事」は7.3時間である。女性の方が「仕事」は1.7時間少ないものの、「家事」は2.7時間多くなっている。

また、休日の「家事」についても同様に、男性が2.1時間、女性が4.8時間で、女性の方が2.7時間多く、女性の負担は休日も多くなっている。

### 問 14 平日の家事と仕事の労働時間(平均)

【男女別・年齢別】



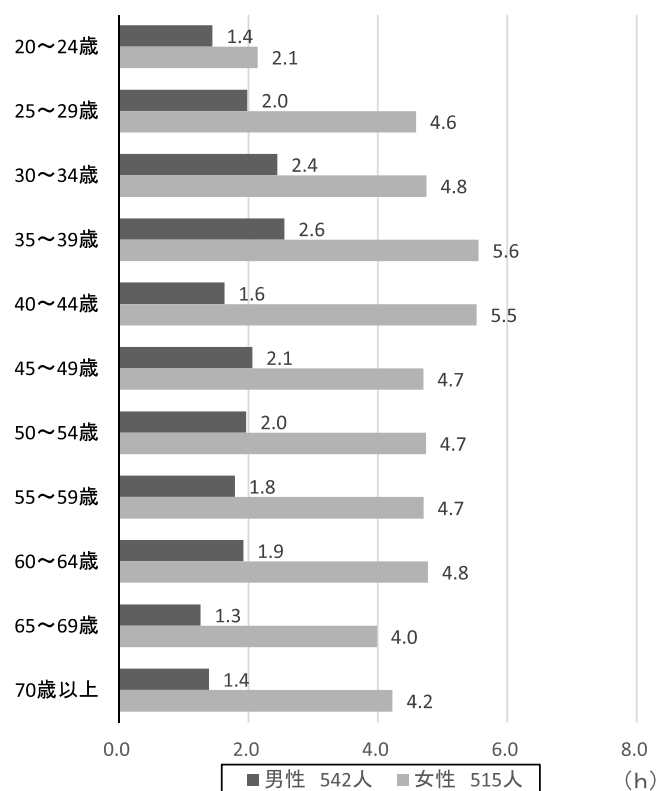
年齢別にみると、平日の「仕事」時間は、男性は30代から50代で9時間以上となっている。女性は20代後半から30代前半で8時間前後となっている。

一方、平日の「家事」時間は、男性は20代・30代や60代以上で1時間を超えるものの、年齢層ごとの大きな違いはみられない。女性は40代前半が最も多く4.6時間となっている。

休日の「家事」時間は、男性では30代が最も多く2.5時間前後だが、女性は30代後半・40代前半が最も多く5.5時間程度となっており、働く女性の家事負担が大きくなっていることがうかがえる。

### 問 14 休日の家事の労働時間(平均)

【男女別・年齢別】



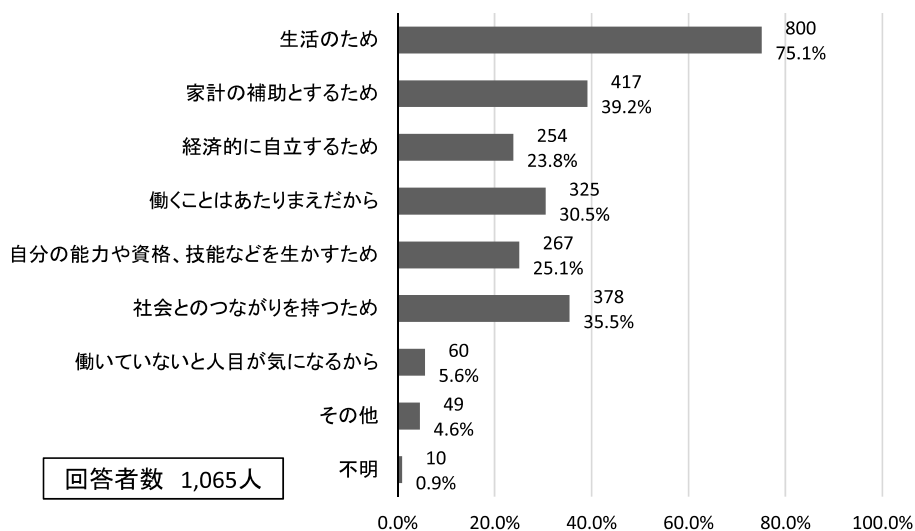
#### (4) 仕事をしている理由

【※ 問 12 で「1~3」と回答した方】

問 15 あなたが仕事をしている主な理由は何ですか。(すべて選択)

- |                       |                 |
|-----------------------|-----------------|
| 1 生活のため               | 2 家計の補助とするため    |
| 3 経済的に自立するため          | 4 働くことはあたりまえだから |
| 5 自分の能力や資格、技能などを生かすため | 6 社会とのつながりを持つため |
| 7 働いていないと人目が気になるから    | 8 その他 ( )       |

#### 問 15 仕事をしている主な理由



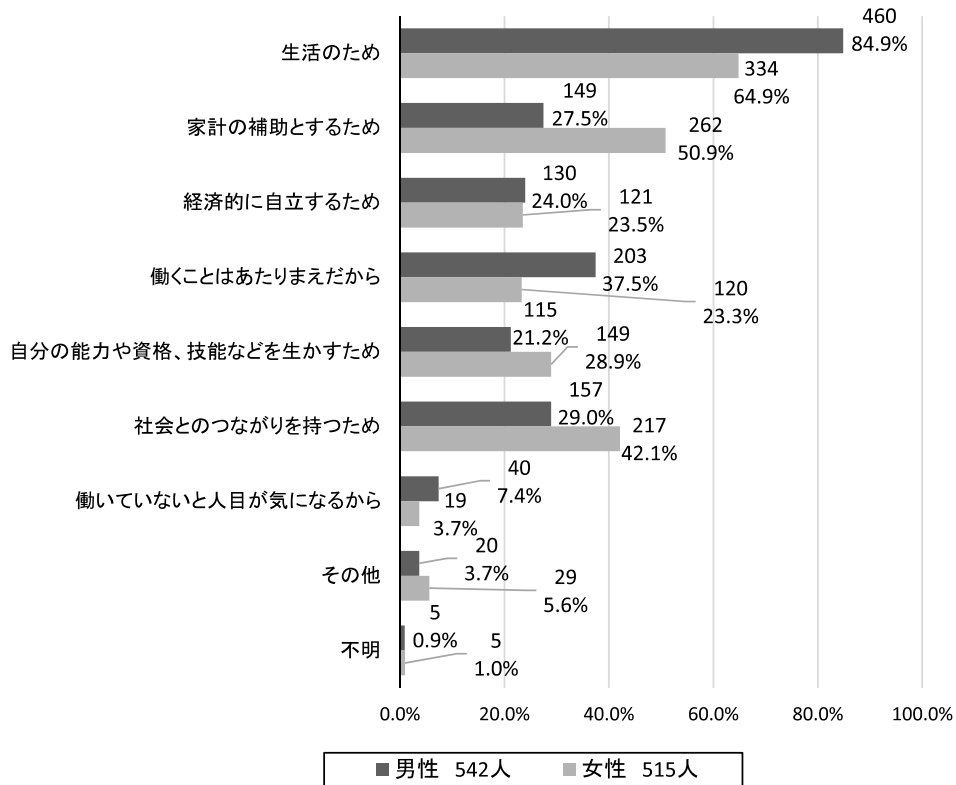
#### ■その他の回答 (抜粋)

- ・趣味
  - ・家業だから
  - ・夢であった職業に就けたため
  - ・時間があるので。仕事をしていないとヒマなので
  - ・仕事は健康のためと、楽しさがあるから
  - ・生きがいとなっている
  - ・仕事が好き
  - ・家族を守るため
- など

仕事をしている主な理由をみると、「生活のため」が 75.1%と最も多く、次いで「家計の補助とするため」が 39.2%、「社会とのつながりを持つため」が 35.5%となっている。

「その他」の回答では、「趣味」や「健康」、「生きがい」等があがっている。

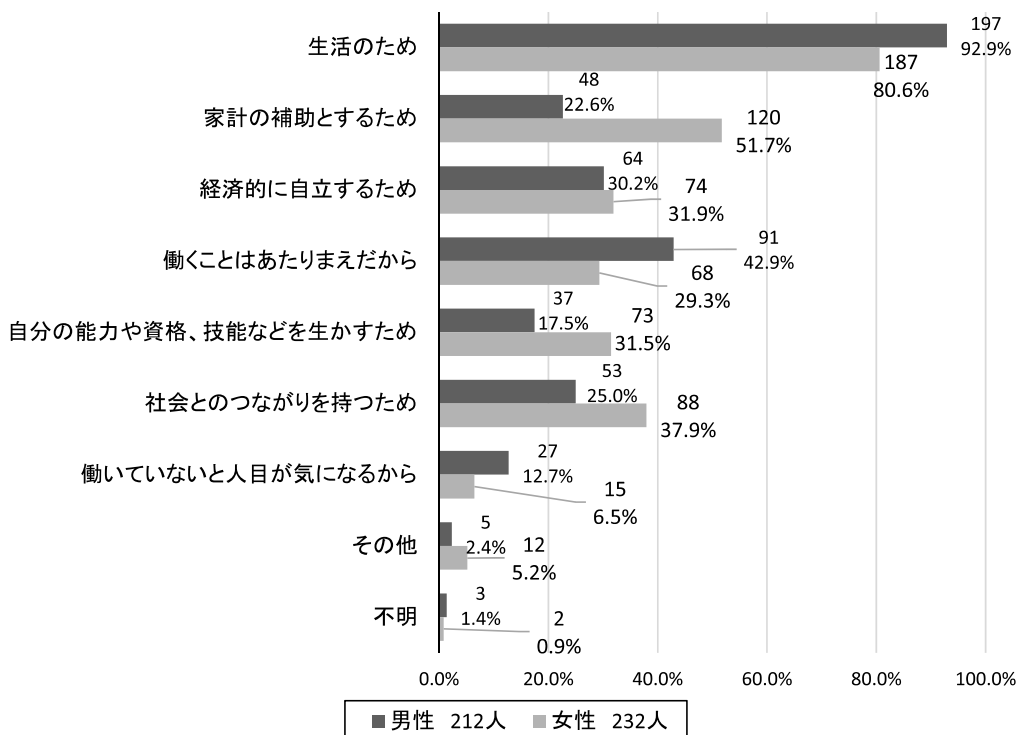
問 15 仕事をしている主な理由【男女別】



男女別にみると、男女共に「生活のため」の割合が最も高いが、次いで、男性では「働くことがあたりまえだから」、女性では「家計の補助とするため」となっているが、以降女性は「社会とのつながりを持つため」「自分の能力や資格、技能などを生かすため」と続き、男女差が大きいことから、仕事に求めるものが男女で異なっていることがうかがえる。

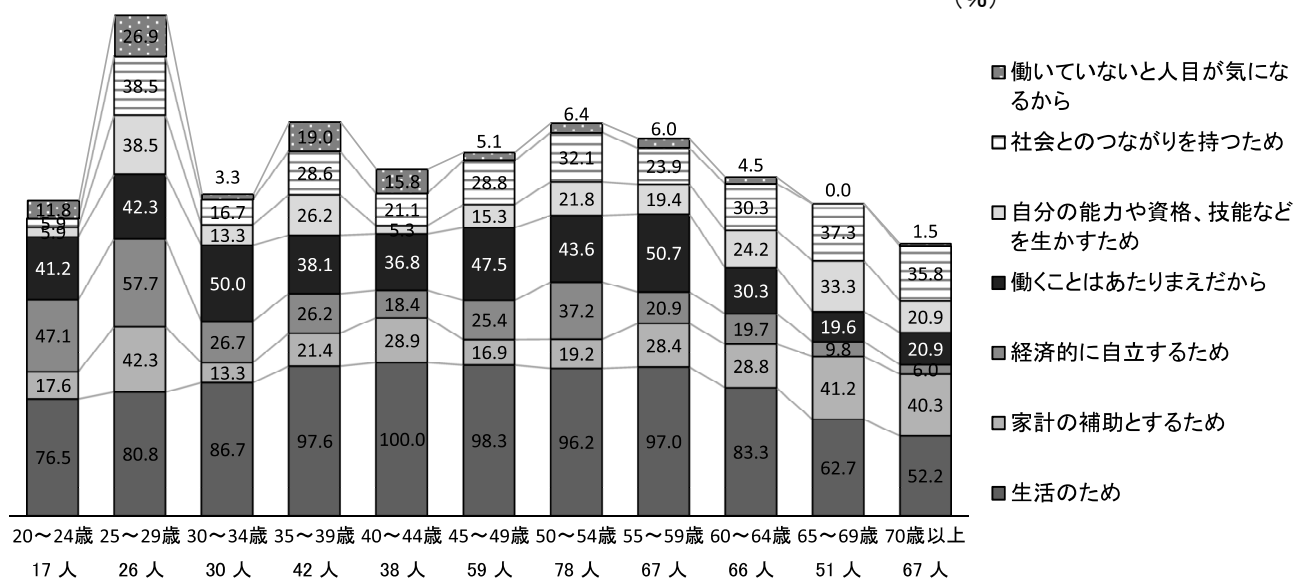
50歳未満でも同じような傾向がみられる。

問 15 仕事をしている主な理由【男女別・50歳未満】

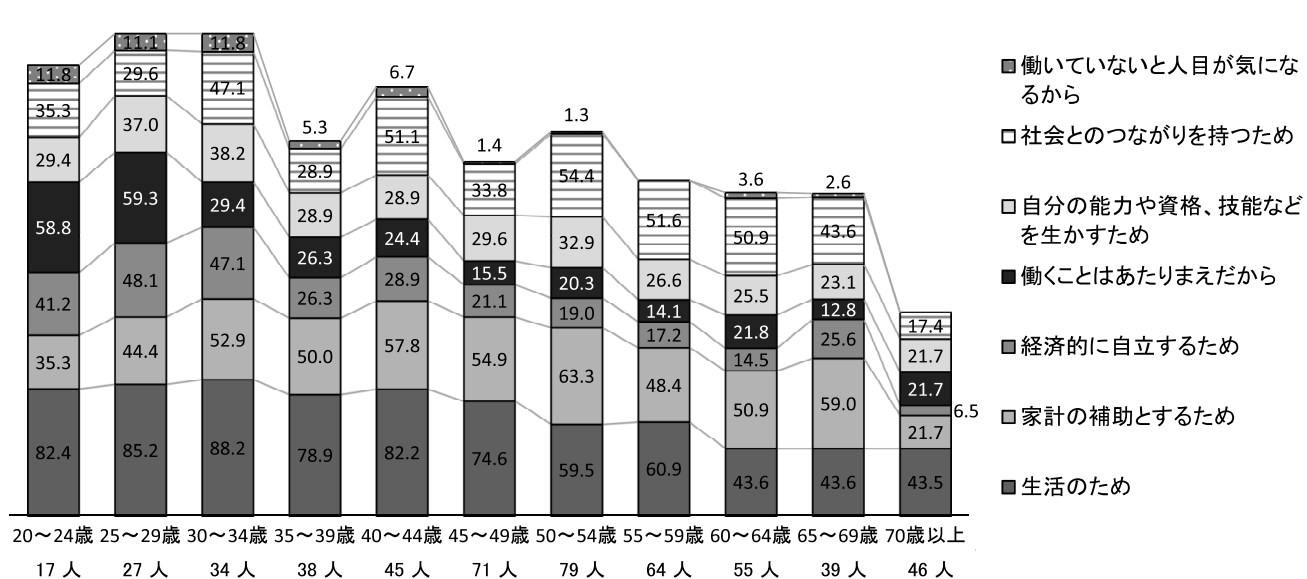


問 15 仕事をしている主な理由

【男性・年齢別】



【女性・年齢別】



男女別・年齢別にみると、男性では、30代後半から50代の年齢層で「生活のため」が9割以上と高い割合を占めている。

一方、女性では、20代から40代の比較的若い年齢層で「生活のため」が7割以上、20代では「働くことはあたりまえだから」が6割となっており、若い年齢層では経済的必然性ととも、意識的にも働くことがあたりまえとなりつつあることがうかがえる。一方、40代・50代前半の中老年層では「家計の補助とするため」の割合が比較的高く、40代前半や50代では「社会とのつながりを持つため」の割合が比較的高くなっており、年齢により働く意味の違いがあらわれている。

## (5) 職場の満足度

【※ 問12で「1~3」と回答した方】

問16 あなたは今の職場に満足していますか。(各項目1つ選択)

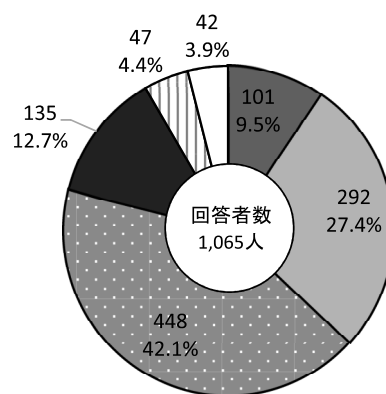
	とても満足	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満
(1) 仕事の内容	5点	4点	3点	2点	1点
(2) 上司・同僚	5点	4点	3点	2点	1点
(3) 給料	5点	4点	3点	2点	1点
(4) 勤務時間・休暇	5点	4点	3点	2点	1点
(5) 役職・待遇	5点	4点	3点	2点	1点
(6) 職場全体	5点	4点	3点	2点	1点

### ア 仕事の内容

仕事の内容については、「とても満足」が9.5%、「満足」が27.4%、「どちらかといえば満足」が42.1%で、「満足」割合の合計は79.0%となっている。

一方、「不満」が4.4%、「どちらかといえば不満」が12.7%で、「不満」割合の合計は17.1%となっている。

問16(1) 仕事の内容



■ とても満足

■ 満足

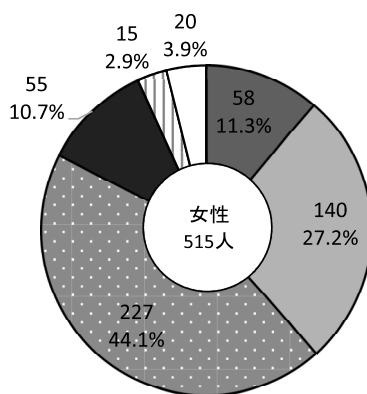
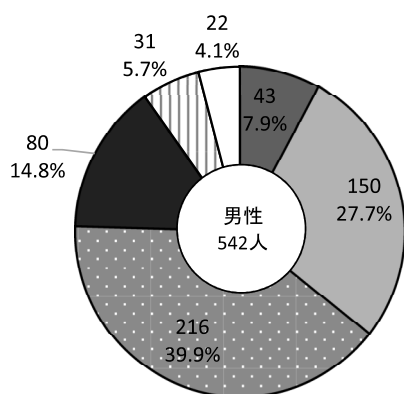
■ どちらかといえば満足

■ どちらかといえば不満

□ 不満

□ 不明

問 16 ( 1 ) 仕事の内容【男女別】



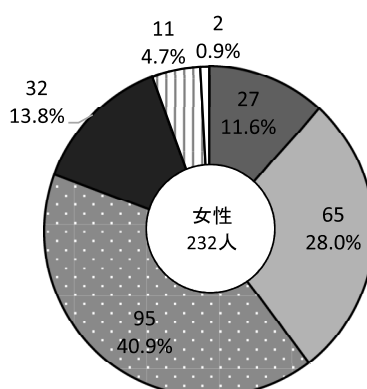
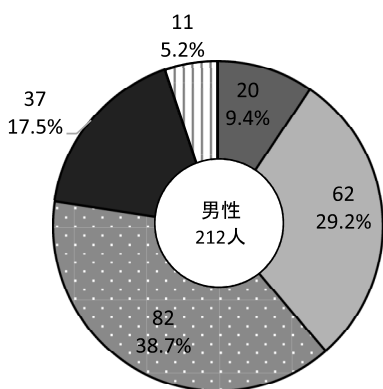
- とても満足
- ▣ 満足
- ▤ どちらかといえば満足
- どちらかといえば不満
- 不満
- 不明

男女別にみると、“満足”(「とても満足」「満足」「どちらかといえば満足)割合の合計は、男性で 75.5%、女性で 82.6%と、女性の満足度が高くなっている。

前回調査と比較すると、“満足”割合の合計は、男女共に若干上がっている(男性：73.2%→75.5%、女性：80.3%→82.6%)が、あまり変化はしていない。

50歳未満でみると、“満足”割合の合計は、男性で 77.3%、女性で 80.5%と、女性の満足度が高くなっており、年齢によらず女性の方が仕事の内容に満足していることがうかがえる。

問 16 ( 1 ) 仕事の内容【男女別・50歳未満】



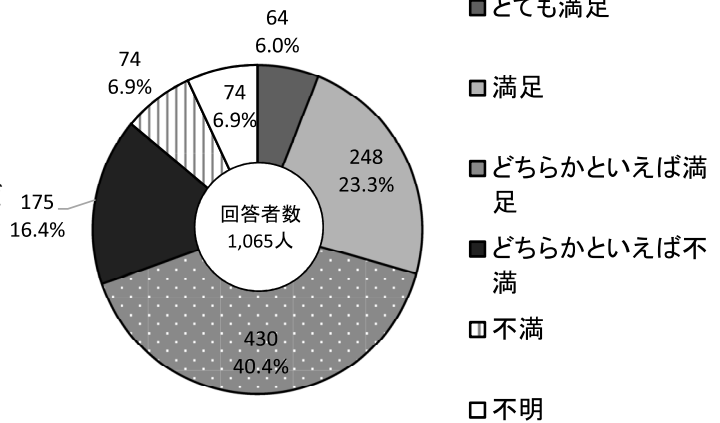
- とても満足
- ▣ 満足
- ▤ どちらかといえば満足
- どちらかといえば不満
- 不満
- 不明

## イ 上司・同僚

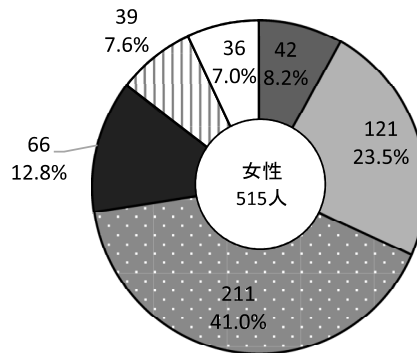
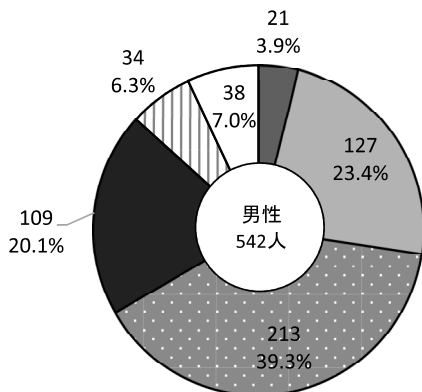
上司・同僚については、「とても満足」が6.0%、「満足」が23.3%、「どちらかといえば満足」が40.4%で、“満足”割合の合計は69.7%となっている。

一方、「不満」が6.9%、「どちらかといえば不満」が16.4%で、“不満”割合の合計は25.4%となっている。

問16(2) 上司・同僚



問16(2) 上司・同僚【男女別】

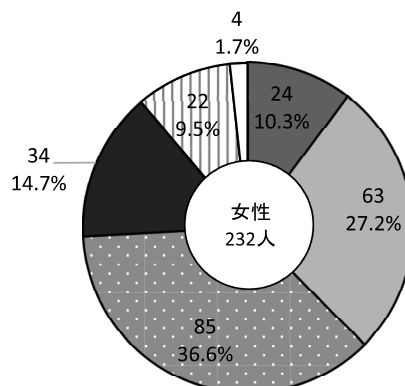
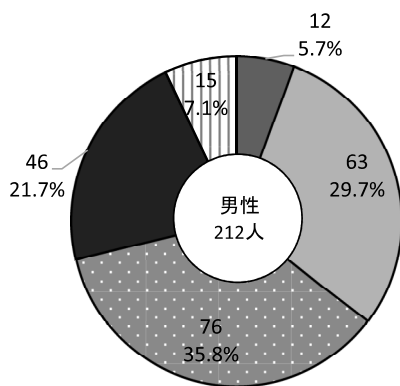


男女別にみると、“満足”(「とても満足」「満足」「どちらかといえば満足)割合の合計は、男性で66.6%、女性で72.7%と、女性の満足度が高くなっている。

前回調査と比較すると、“満足”割合の合計は、男女共に上昇している(男性:62.1%→66.6%、女性:70.5%→72.7%)が、特に男性が4.5ポイント上昇している。

50歳未満でみると、“満足”割合の合計は、男女共にさらに高く、男性で71.2%、女性で74.1%となっており、女性の方が上司や同僚に満足している。

問16(2) 上司・同僚【男女別・50歳未満】



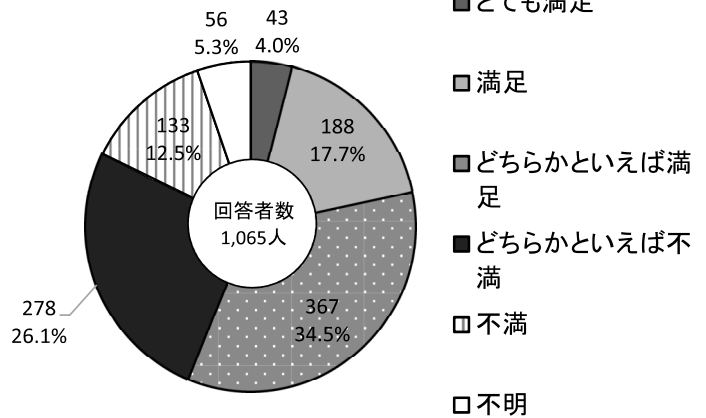


## ウ 給料

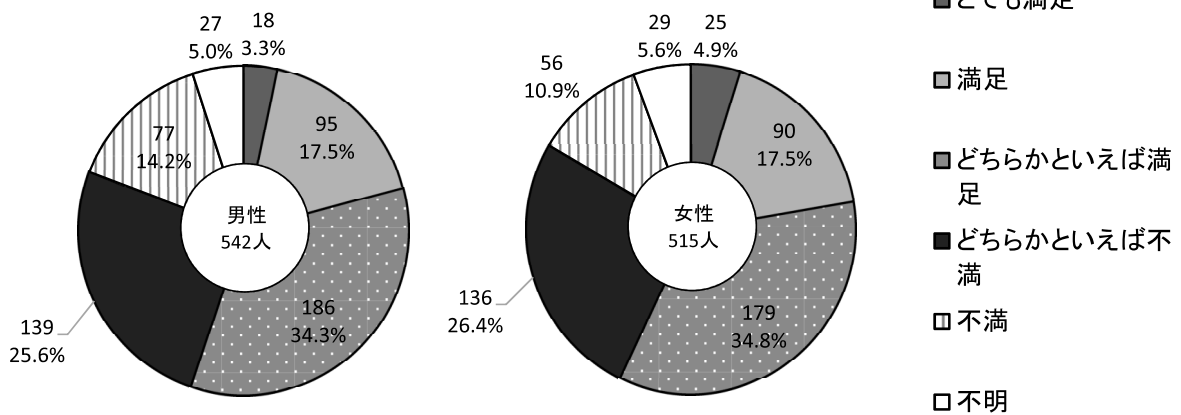
給料については、「とても満足」が4.0%、「満足」が17.7%、「どちらかといえば満足」が34.5%で、“満足”割合の合計は56.2%となっている。

一方、「不満」が12.5%、「どちらかといえば不満」が26.1%で、“不満”割合の合計は38.6%と、他項目よりも不満の割合が高くなっている。

問16(3) 給料



問16(3) 給料【男女別】

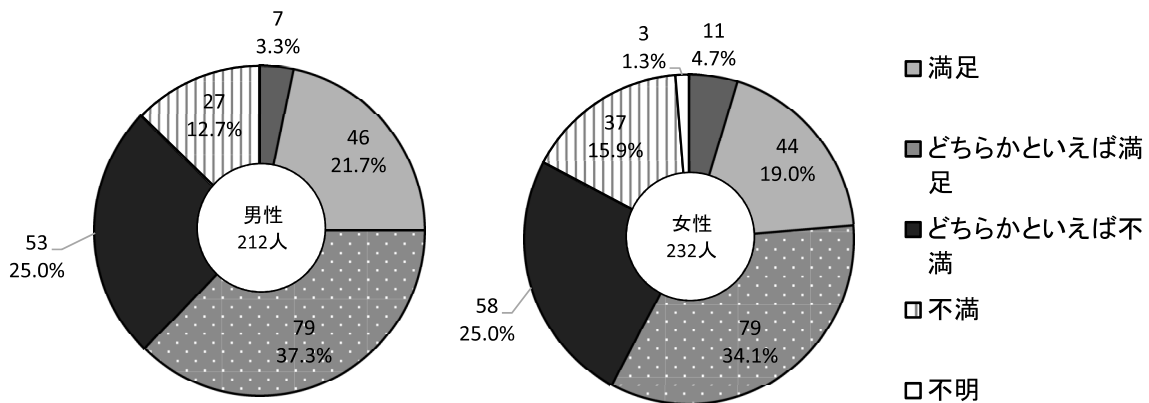


男女別にみると、“満足”(「とても満足」「満足」「どちらかといえば満足)割合の合計は、男性で55.1%、女性で57.2%と、女性の方が若干高くなっている。

前回調査と比較すると、“満足”割合の合計は、男性で6.2ポイント(48.9%→55.1%)、女性で3.6ポイント(53.6%→57.2%)上昇している。

50歳未満でみると、“満足”割合の合計は、男性で62.3%、女性で57.8%と、男女が逆転して男性の方が4.5ポイント高くなっており、比較的若い年齢層では女性の方が給料に不満を持っていることがうかがえる。

問16(3) 給料【男女別・50歳未満】

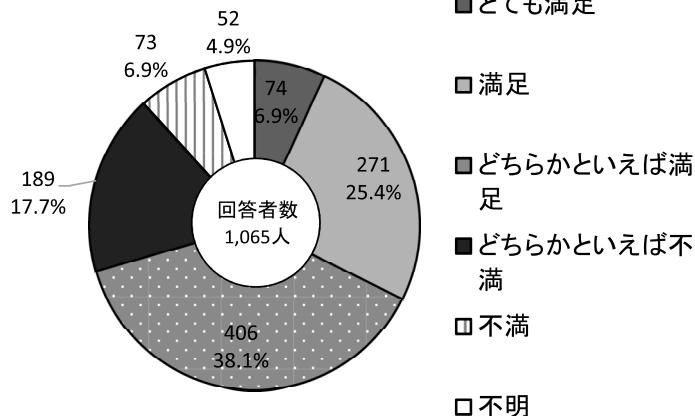


## エ 勤務時間・休暇

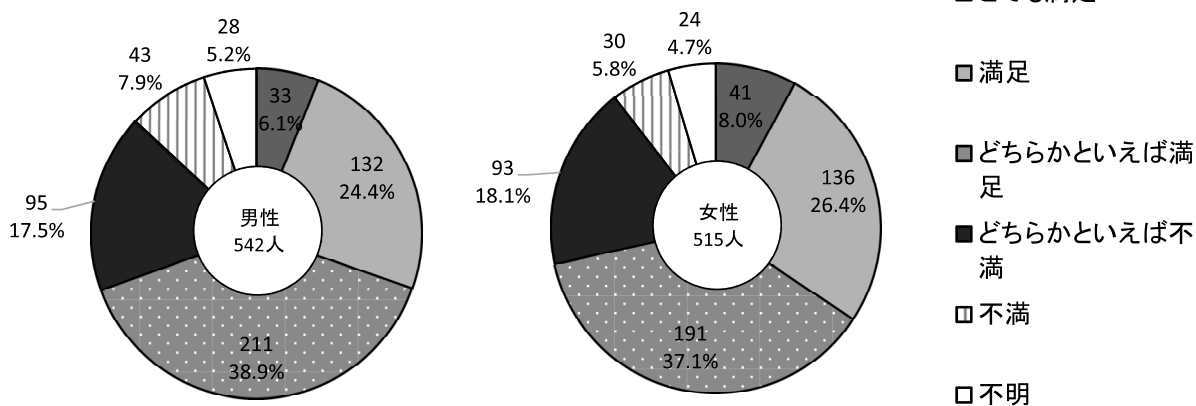
勤務時間・休暇については、「とても満足」が6.9%、「満足」が25.4%、「どちらかといえば満足」が38.1%で、“満足”割合の合計は70.4%となっている。

一方、「不満」が6.9%、「どちらかといえば不満」が17.7%で、“不満”割合の合計は24.6%となっている。

問 16（4）勤務時間・休暇



問 16（4）勤務時間・休暇【男女別】

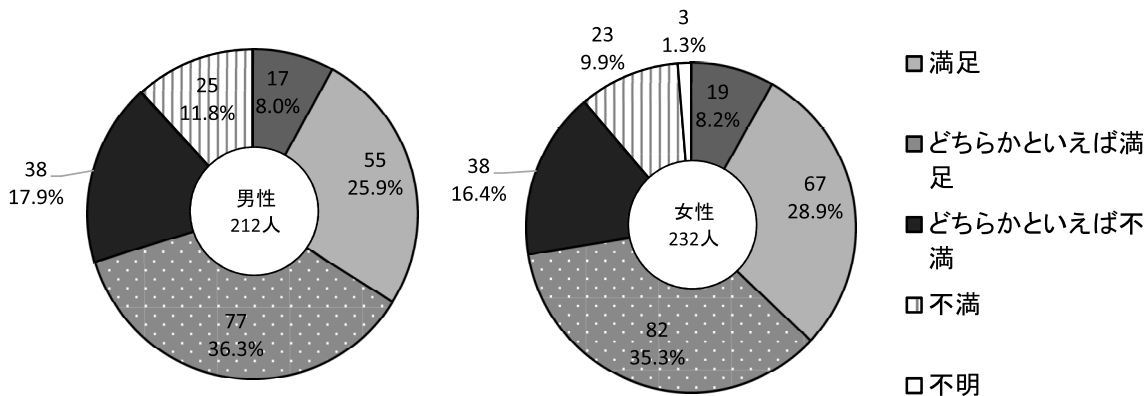


男女別にみると、“満足”（「とても満足」「満足」「どちらかといえば満足」）割合の合計は、男性で69.4%、女性で71.5%と、男女で大きな差はみられない。

前回調査と比較すると、“満足”割合の合計は、男性で7.3ポイント（62.1%→69.4%）、女性で6.0ポイント（65.0%→71.5%）上昇しており、5年間で勤務時間や休暇等の改善がうかがえる。

50歳未満でみると、“満足”割合の合計は、男性で70.2%、女性で72.4%と、女性の満足度が若干高く、“不満”（「不満」「どちらかといえば不満」）割合は、男性が29.7%、女性が26.3%で、勤務時間や休暇については、男性の方が不満を持っていることがうかがえる。

問 16（4）勤務時間・休暇【男女別・50歳未満】

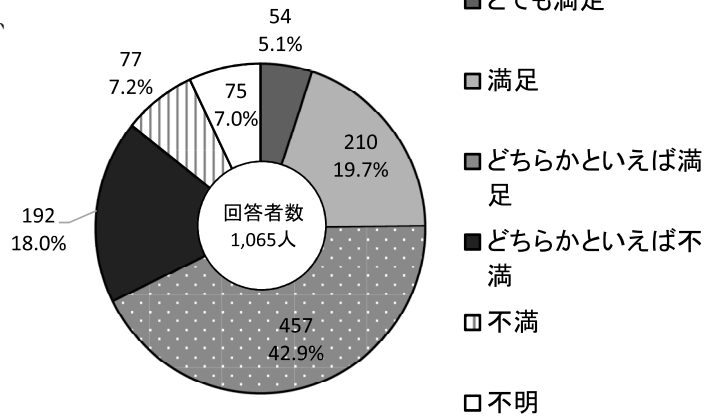


## オ 役職・待遇

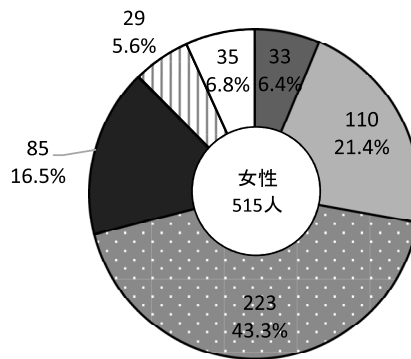
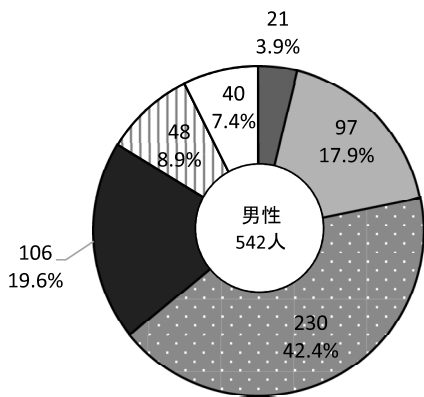
役職・待遇については、「とても満足」が5.1%、「満足」が19.7%、「どちらかといえば満足」が42.9%で、“満足”割合の合計は67.7%となっている。

一方、「不満」が7.2%、「どちらかといえば不満」が18.0%で、“不満”割合の合計は25.2%となっている。

問 16 (5) 役職・待遇



問 16 (5) 役職・待遇【男女別】

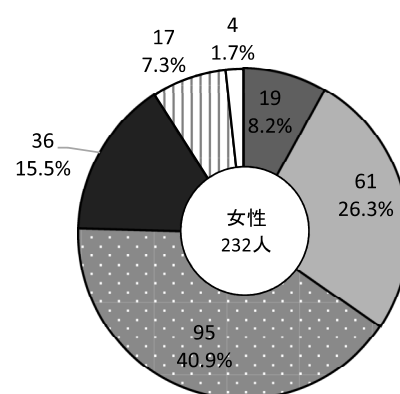
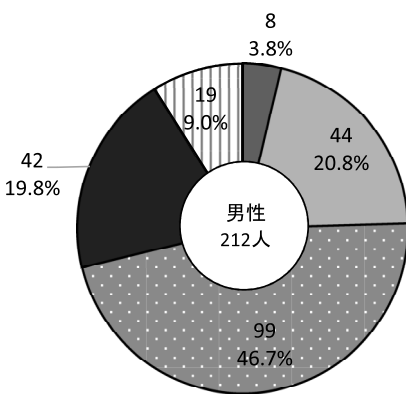


男女別にみると、“満足”（「とても満足」「満足」「どちらかといえば満足」）割合の合計は、男性で64.2%、女性で71.1%と、女性の方が6.9ポイント高く、男女で満足度に違いがあらわれている。

前回調査と比較すると、“満足”割合の合計は、男性で5.6ポイント（58.6%→64.2%）、女性で7.7ポイント（63.4%→71.1%）上昇しており、5年間で役職や待遇等の改善がうかがえる。

50歳未満でみると、“満足”割合の合計は、男性で71.3%、女性で75.4%と、女性の満足度が高く、“不満”（「不満」「どちらかといえば不満」）割合は、男性が28.8%、女性が22.8%で、役職や待遇については、男性の方が不満を持っていることがうかがえる。

問 16 (5) 役職・待遇【男女別・50歳未満】

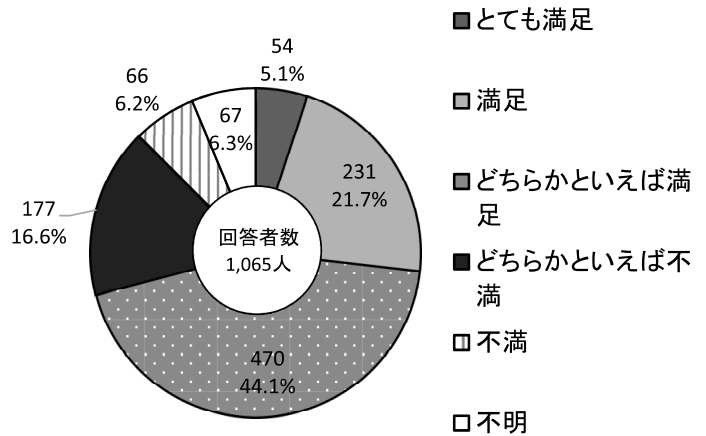


## カ 職場全体

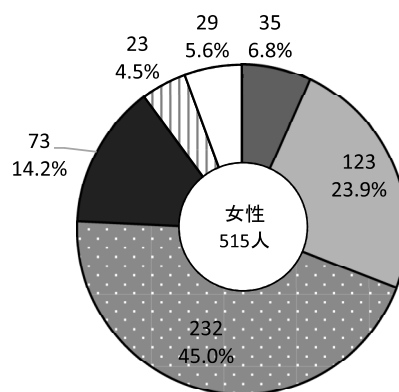
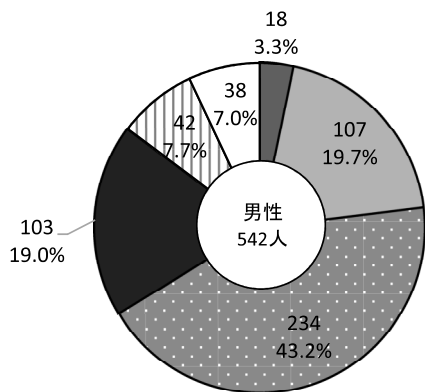
職場全体については、「とても満足」が5.1%、「満足」が21.7%、「どちらかといえば満足」が44.1%で、“満足”割合の合計は70.9%となっている。

一方、「不満」が6.2%、「どちらかといえば不満」が16.6%で、“不満”割合の合計は22.8%となっている。

問 16 (6) 職場全体



問 16 (6) 職場全体【男女別】

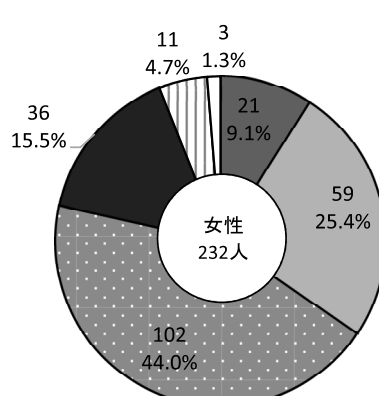
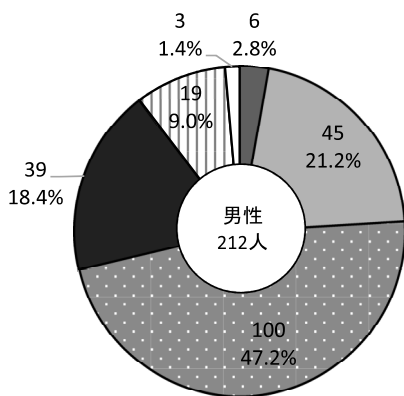


男女別にみると、“満足”(「とても満足」「満足」「どちらかといえば満足)割合の合計は、男性で66.2%、女性で75.7%と、女性の方が9.5ポイント高く、男女で満足度に差があらわれている。

前回調査と比較すると、“満足”割合の合計は、男性では変化していない(65.5%→66.2%)が、女性では4.3ポイント(71.4%→75.7)上昇している。

50歳未満でみると、“満足”割合の合計は、男性で71.2%、女性で78.5%と、女性は職場全体について、満足している割合が男性よりも高くなっている。

問 16 (6) 職場全体【男女別・50歳未満】



## キ 仕事の満足度（項目比較）

### 問 16 仕事の満足度の平均

#### 【男性・年齢別】

	仕事の内容	上司・同僚	給料	勤務時間・休暇	役職・待遇	職場全体
20～24歳	3.00	2.82	2.59	3.00	2.94	2.88
25～29歳	3.35	3.35	2.58	3.12	3.04	3.23
30～34歳	3.03	2.80	3.00	3.03	2.80	2.69
35～39歳	3.31	3.14	2.62	3.10	2.86	2.93
40～44歳	2.95	3.00	2.76	2.95	2.84	2.89
45～49歳	3.37	3.08	2.93	2.92	2.97	2.86
50～54歳	2.95	2.82	2.47	2.95	2.69	2.76
55～59歳	3.10	2.94	2.85	2.99	2.91	2.83
60～64歳	3.25	3.02	2.38	3.17	2.83	2.97
65～69歳	3.21	3.00	2.60	3.06	2.87	2.96
70歳以上	3.45	2.98	2.89	3.13	3.10	3.22

#### 【女性・年齢別】

	仕事の内容	上司・同僚	給料	勤務時間・休暇	役職・待遇	職場全体
20～24歳	3.59	3.18	2.65	3.59	3.88	3.59
25～29歳	3.15	3.23	2.31	2.65	3.00	3.08
30～34歳	3.38	3.24	2.76	3.15	3.09	3.24
35～39歳	3.05	3.00	2.54	3.03	3.14	3.08
40～44歳	3.31	3.31	2.91	3.04	3.16	3.29
45～49歳	3.31	3.03	2.81	3.17	2.99	3.10
50～54歳	3.36	3.12	2.74	3.08	2.87	3.12
55～59歳	3.41	3.10	2.78	3.08	2.89	3.05
60～64歳	3.39	3.12	2.92	3.04	3.08	3.10
65～69歳	3.39	3.05	2.97	3.37	3.28	3.21
70歳以上	3.49	3.21	2.90	3.53	3.26	3.21

※満足度の平均：「とても満足」→5点、「満足」→4点、「どちらかといえば満足」→3点、「どちらかといえば不満」→2点、「不満」→1点で、平均値を算出（無回答・不明は除く）  
平均3点以上を網掛け

男女別・年齢別に仕事の満足度の平均点を比較すると、男性は「仕事の内容」ではほぼ全ての年齢層で3点以上を上回っているものの、「給料」や「役職・待遇」、「職場全体」について、ほぼ全ての年齢層で3点を下回っている。また、「勤務時間・休暇」については、20代・30代や60代以上の年齢層で3点以上を上回っているものの、40代・50代は下回っており、中高年の男性に不満があることがうかがえる。

女性は「仕事の内容」や「上司・同僚」、「職場全体」については全ての年齢層で3点以上を上回っており、「勤務時間・休暇」も20代後半を除いた年齢層で3点以上を上回っており、男性に比べて仕事に対する満足度がどの年齢層でも高いことがうかがえる。一方で、「給料」では全年齢層が3点以下を下回り、「役職・待遇」では40代後半や50代で3点を下回っており、給料面での改善や女性の登用などの面で課題があることがうかがえる。

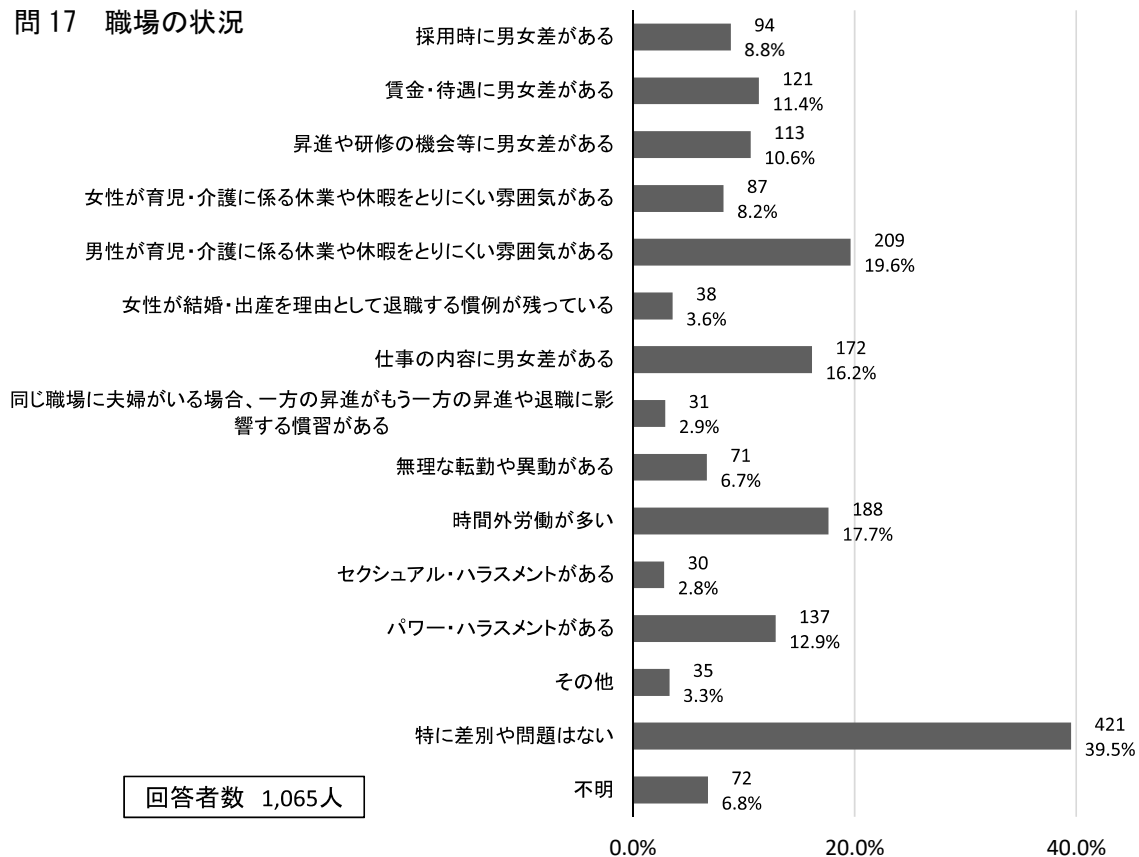
## (6) 職場の状況

【※ 問 12 で「1~3」と回答した方】

問 17 あなたの職場についてうかがいます。(職場の状況について、すべて選択)

- 1 採用時に男女差がある
- 2 賃金・待遇に男女差がある
- 3 昇進や研修の機会等に男女差がある
- 4 女性が育児・介護に係る休業や休暇をとりにくい雰囲気がある
- 5 男性が育児・介護に係る休業や休暇をとりにくい雰囲気がある
- 6 女性が結婚・出産を理由として退職する慣例が残っている
- 7 仕事の内容に男女差がある
- 8 同じ職場に夫婦がいる場合、一方の昇進がもう一方の昇進や退職に影響する慣習がある
- 9 無理な転勤や異動がある
- 10 時間外労働が多い
- 11 セクシュアル・ハラスメントがある
- 12 パワー・ハラスメントがある
- 13 その他 ( )
- 14 特に差別や問題はない

### 問 17 職場の状況

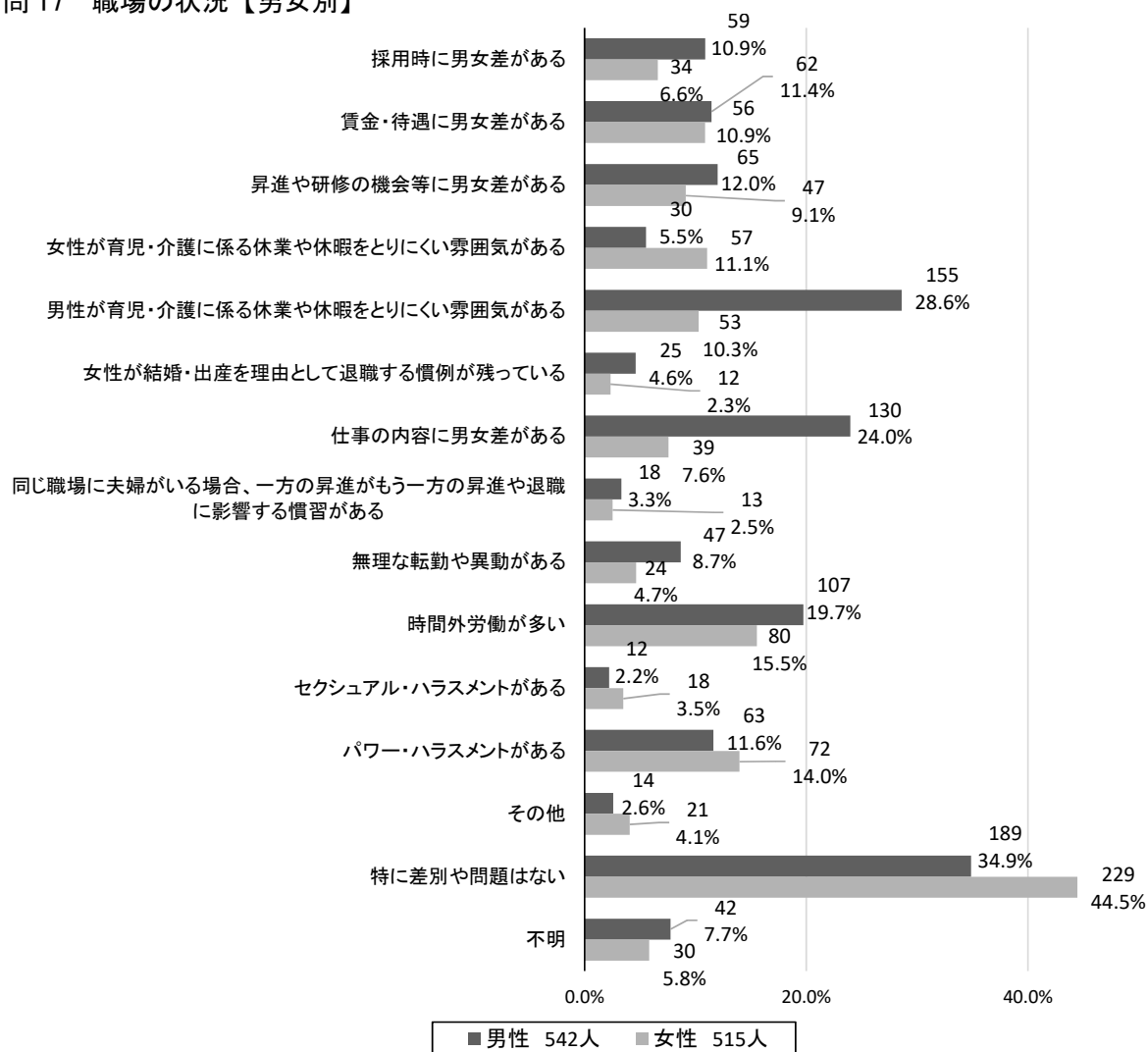


#### ■その他の回答（抜粋）

- ・職群（総合職・一般職）に関わらず、女性にのみ課される清掃分担がある
- ・男女共同参画社会のため、今は「女性管理職数や割合」をKPIに設定して女性を登用する傾向がある。能力、スキルをもった方を登用頂きたい
- ・仕事の内容に女性には一般的に難しいと思われる内容が多い。特に建設業
- ・子育てをしているのに、リーダー（指示、教育）をまかせられ手当金が少ない
- ・何も教えてもらえない など

職場の状況をみると、「特に差別や問題はない」が全体の 39.5%となっているが、一方で「男性が育児・介護に係る休業や休暇をとりにくい雰囲気がある」(19.6%)、「時間外労働が多い」(17.7%)、「仕事の内容に男女差がある」(16.2%)などの回答が多くなっている。

### 問 17 職場の状況【男女別】

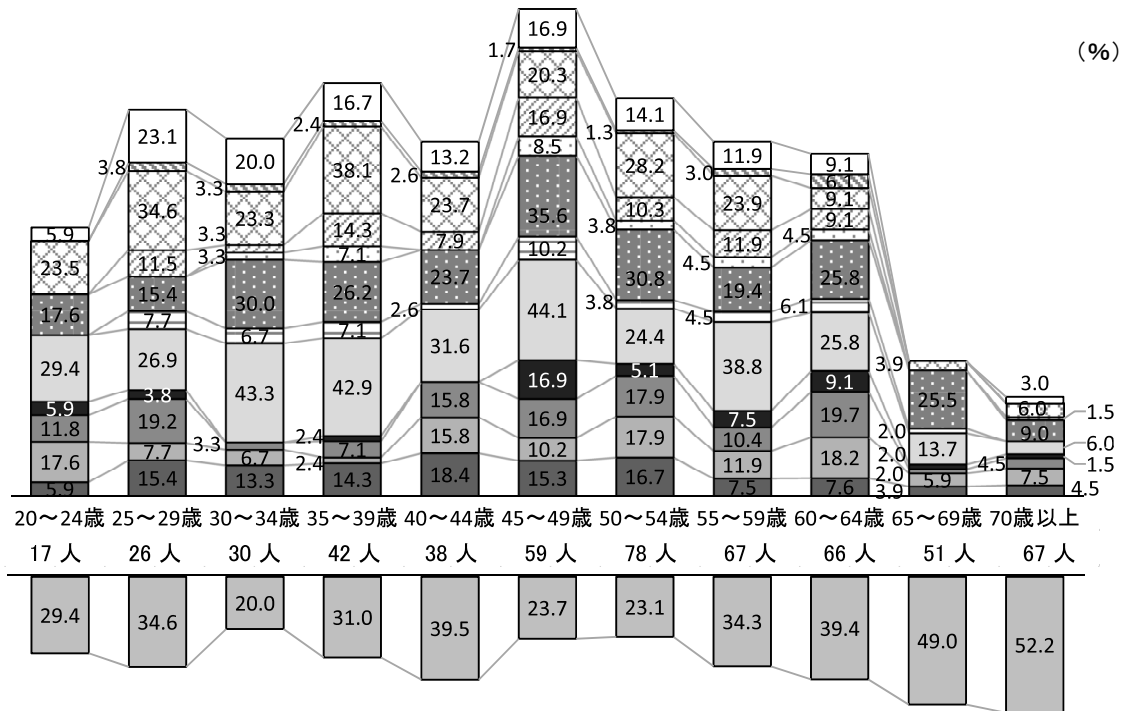


男女別にみると、「特に差別や問題はない」は、男性で 34.9%、女性で 44.5%と、女性の方が問題がないと捉えている割合が高くなっている。

課題については、男性では「男性が育児・介護に係る休業や休暇をとりにくい雰囲気がある」、「仕事の内容に男女差がある」、「時間外労働が多い」といった回答が多くなっており、男性が育児や介護に関わりやすい環境づくりが課題であることがうかがえる。一方、女性では、男性ほど割合は高くないが、「時間外労働が多い」や「パワー・ハラスメントがある」といった回答が多くなっている。

問 17 職場の状況

【男性・年齢別】

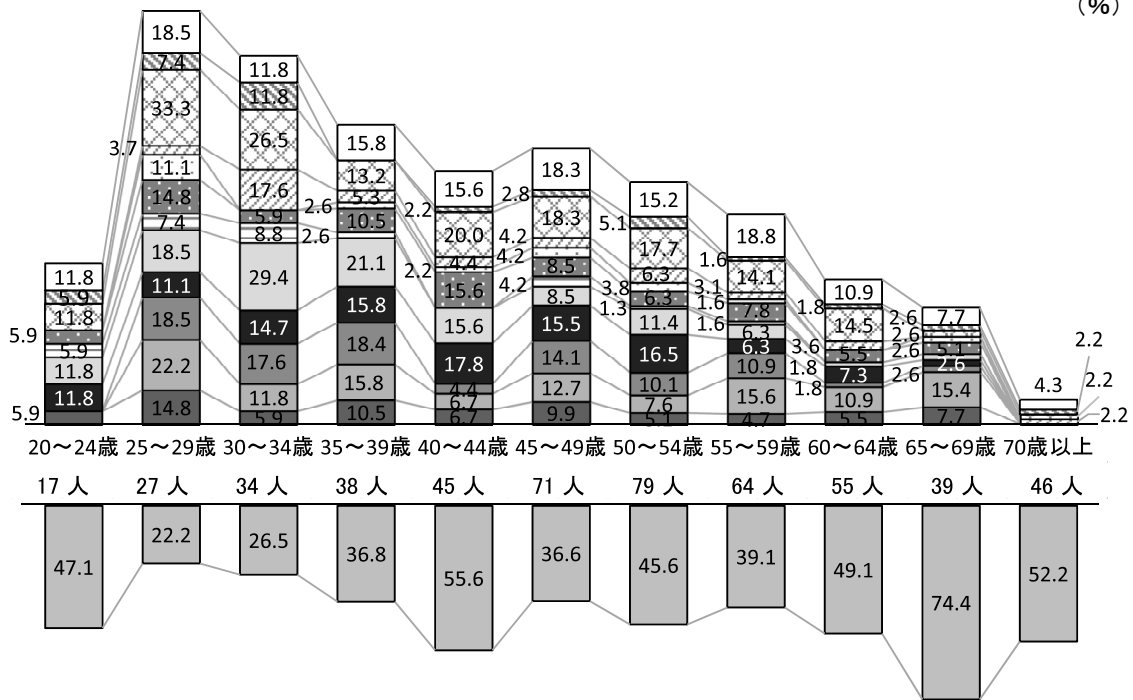


- パワー・ハラスメントがある
- セクシュアル・ハラスメントがある
- 時間外労働が多い
- 無理な転勤や異動がある
- 同じ職場に夫婦がいる場合、一方の昇進がもう一方の昇進や退職に影響する慣習がある
- 仕事の内容に男女差がある
- 女性が結婚・出産を理由として退職する慣例が残っている
- 男性が育児・介護に係る休業や休暇をとりにくい雰囲気がある
- 女性が育児・介護に係る休業や休暇をとりにくい雰囲気がある
- 昇進や研修の機会等に男女差がある
- 賃金・待遇に男女差がある
- 採用時に男女差がある
- 特に差別や問題はない



【女性・年齢別】

(%)



- パワー・ハラスメントがある
- セクシュアル・ハラスメントがある
- 時間外労働が多い
- 無理な転勤や異動がある
- 同じ職場に夫婦がいる場合、一方の昇進がもう一方の昇進や退職に影響する慣習がある
- 仕事の内容に男女差がある
- 女性が結婚・出産を理由として退職する慣例が残っている
- 男性が育児・介護に係る休業や休暇をとりにくい雰囲気がある
- 女性が育児・介護に係る休業や休暇をとりにくい雰囲気がある
- 昇進や研修の機会等に男女差がある
- 賃金・待遇に男女差がある
- 採用時に男女差がある
- 特に差別や問題はない

男女別・年齢別にみると、男性では、30代・40代や50代後半で「男性が育児・介護に係る休業や休暇をとりにくい雰囲気がある」の割合が高くなっており、育児や介護に直面した際に、課題として感じられていることがうかがえる。また、40代後半から50代前半にかけては、職場に何らかの問題があると考えている男性が多い。

一方、女性においては「男性が育児・介護に係る休業や休暇をとりにくい雰囲気がある」が20代後半や30代で比較的高くなっており、男性の育児参加の課題が見受けられる。また、「時間外労働」について、20代後半や30代前半で高くなっており、この世代の家庭と仕事との両立の難しさがうかがえる。

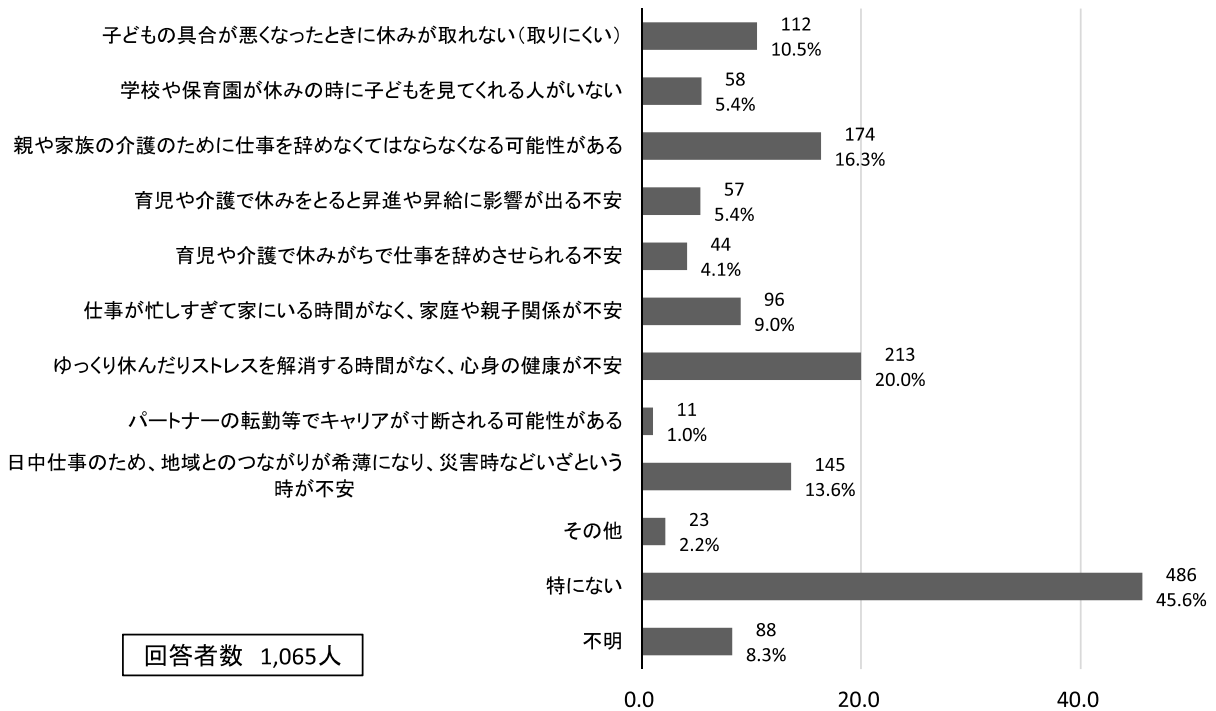
## (7) 仕事と家庭の両立に関する不安

【※ 問 12 で「1~3」と回答した方】

問 18 あなたは、仕事と家庭の両立において、日頃から「不安」に感じていることがありますか。(すべて選択)

- 1 子どもの具合が悪くなったときに休みが取れない(取りにくい)
- 2 学校や保育園が休みの時に子どもを見てくれる人がいない
- 3 親や家族の介護のために仕事を辞めなくてはならなくなる可能性がある
- 4 育児や介護で休みをとると昇進や昇給に影響が出る不安
- 5 育児や介護で休みがちで仕事を辞めさせられる不安
- 6 仕事が忙しすぎて家にいる時間がなく、家庭や親子関係が不安
- 7 ゆっくり休んだりストレスを解消する時間がなく、心身の健康が不安
- 8 パートナーの転勤等でキャリアが寸断される可能性がある
- 9 日中仕事のため、地域とのつながりが希薄になり、災害時などいざという時が不安
- 10 その他 ( )
- 11 特にない

### 問 18 仕事と家庭の両立で不安に感じること



#### ■その他の回答(抜粋)

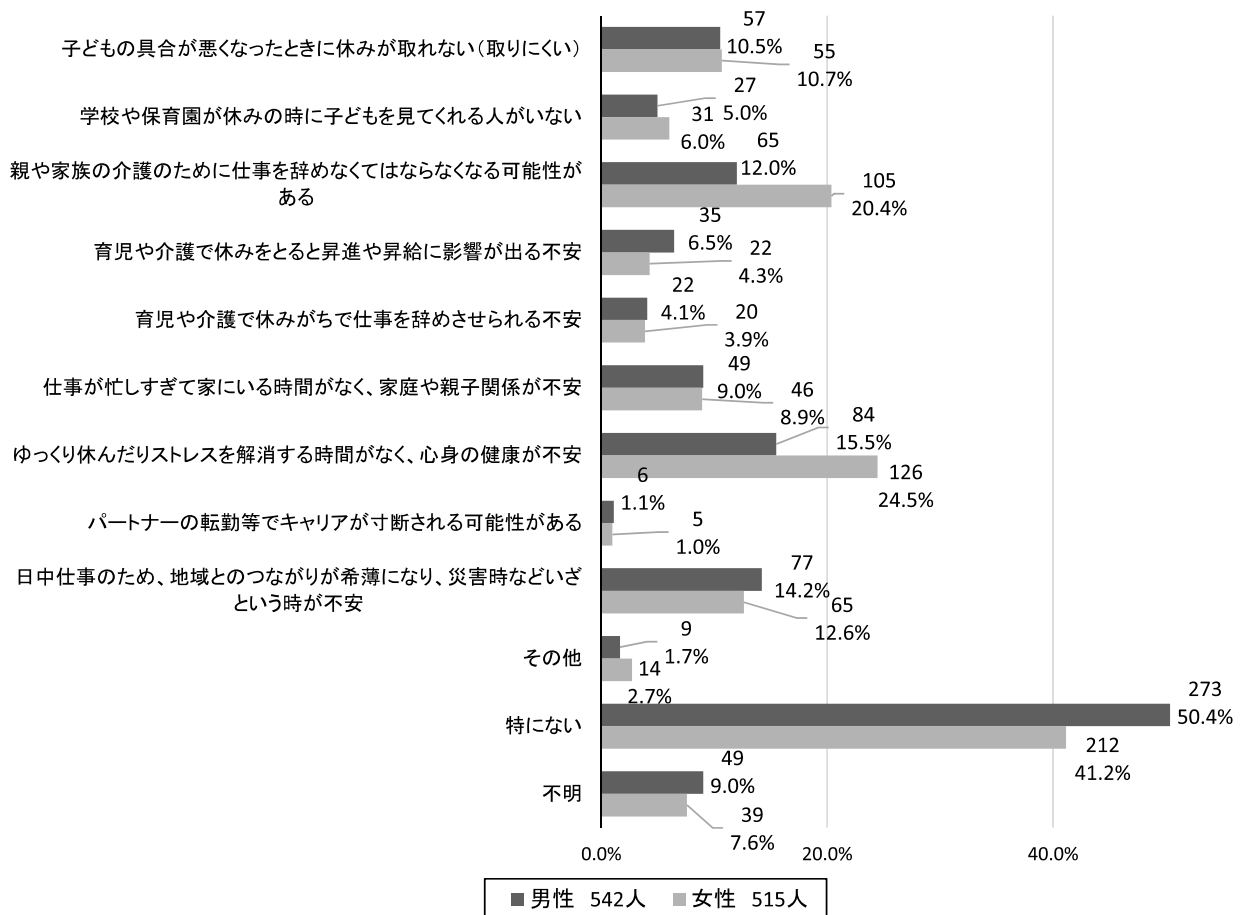
- ・これから結婚や子育てをするとしたら、仕事が忙しくて両立できるか不安
- ・夫の協力が得られない。モラハラでストレス
- ・収入<支出。趣味等に支出なし。友人との飲食も年に1~2回
- ・コロナの影響で仕事上に不安あり
- ・これらすべては職場で働く人たちみんなに起こり得る問題と感じている

など

仕事と家庭の両立で不安を感じることをみると、「特にない」が全体の45.6%となっているが、一方で「ゆっくり休んだりストレスを解消する時間がなく、心身の健康が不安」(20.0%)、「親や家族の介護のために仕事を辞めなくてはならなくなる可能性がある」(16.3%)、「日中仕事のため、地域とのつながりが希薄になり、災害時などいざという時が不安」(13.6%)などの回答が多くなっている。

また、「その他」では、「コロナの影響で仕事上に不安あり」といった意見がいくつか見られる。

### 問 18 仕事と家庭の両立で不安を感じること【男女別】



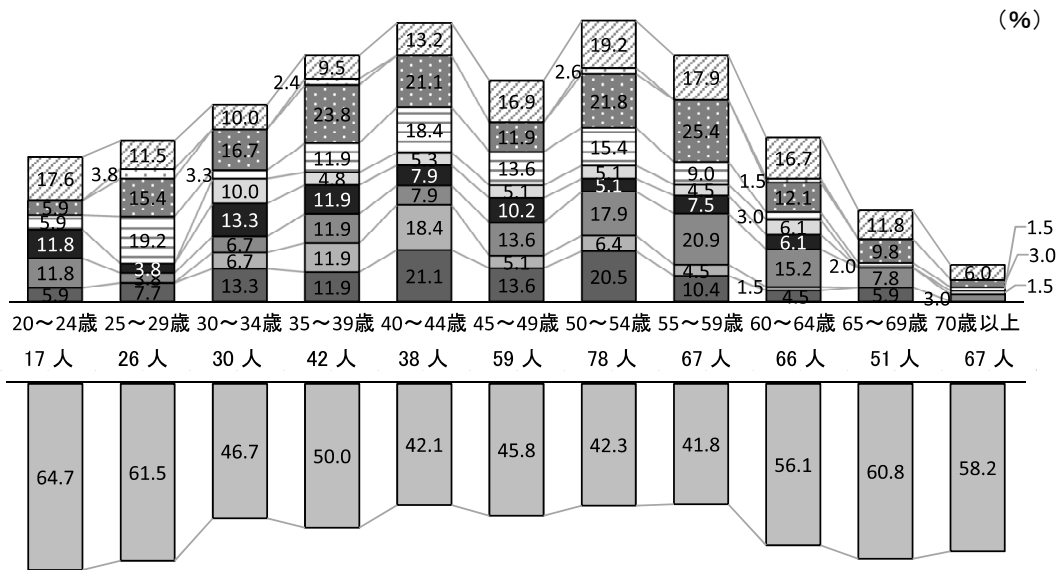
男女別にみると、「特にない」は、男性で50.4%、女性で41.2%と、男性の方が仕事と家庭の両立で不安を感じない人の割合が高くなっている。

一方、不安の内容については、男性では「ゆっくり休んだりストレスを解消する時間がなく、心身の健康が不安」、「日中仕事のため、地域とのつながりが希薄になり、災害時などいざという時が不安」といった回答が多くなっているが、総じて女性より不安の割合が低くなっている。

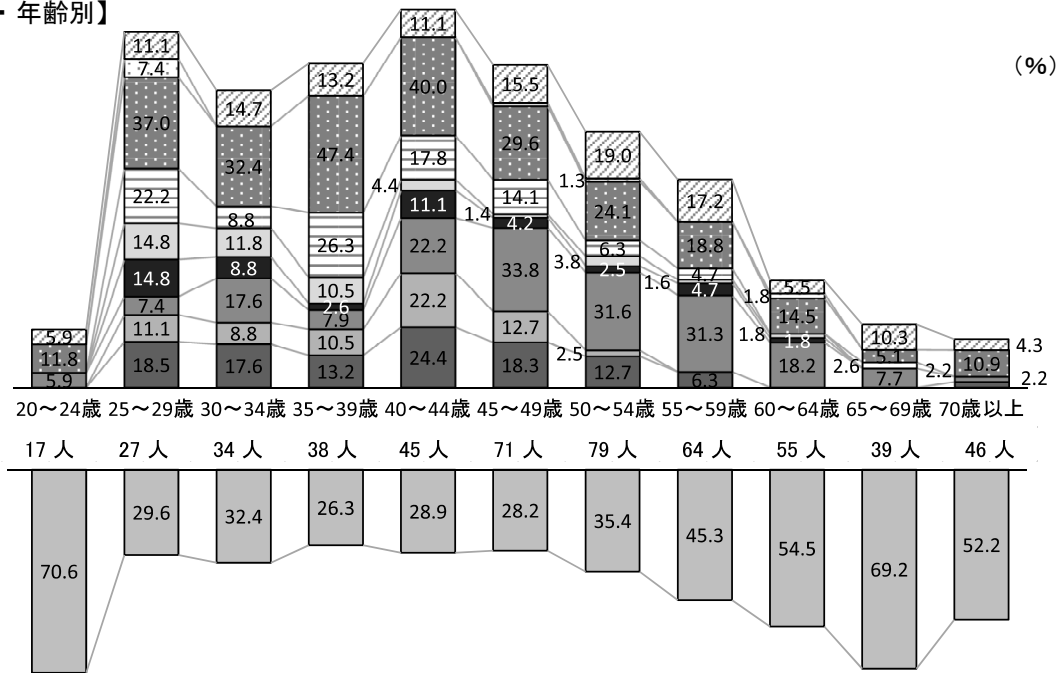
女性では、「ゆっくり休んだりストレスを解消する時間がなく、心身の健康が不安」、「親や家族の介護のために仕事を辞めなくてはならなくなる可能性がある」といった回答が多くなっており、家事を含めた時間や介護との両立が課題となっている。

問 18 仕事と家庭の両立で不安に感じること

【男性・年齢別】



【女性・年齢別】



- 日中仕事のため、地域とのつながりが希薄になり、災害時などいざという時が不安
- パートナーの転勤等でキャリアが寸断される可能性がある
- ゆっくり休んだりストレスを解消する時間がなく、心身の健康が不安
- 仕事が忙しすぎて家にいる時間がなく、家庭や親子関係が不安
- 育児や介護で休みがちで仕事を辞めさせられる不安
- 育児や介護で休みをとると昇進や昇給に影響が出る不安
- 親や家族の介護のために仕事を辞めなくてはならなくなる可能性がある
- 学校や保育園が休みの時に子どもを見てくれる人がいない
- 子どもの具合が悪くなったときに休みが取れない(取りにくい)
- 特にない

男女別・年齢別にみると、男性では、30代後半・40代前半、50代で「ゆっくり休んだりストレスを解消する時間がなく、心身の健康が不安」の割合が高くなっており、働き盛りのストレスが課題となっていると考えられる。

一方、女性においては20代後半から40代くらいまでの各年齢層で不安が「特にない」割合が少なくなっており、逆に何らかの不安を抱えている割合が高くなっている。特に20代後半から40代前半の年齢層では、「ゆっくり休んだりストレスを解消する時間がなく、心身の健康が不安」が3割を超えており、この世代の仕事と家庭の両立のためのサポートが必要となっている。また、40代後半から50代の年齢層では、「親や家族の介護のために仕事を辞めなくてはならなくなる可能性がある」が3割を超えており、中高年では介護の問題が課題となっている。

## (8) 就職希望の有無

【※ 問12で「4 専業主婦・主夫」「5 学生」「6 無職」と回答した方】

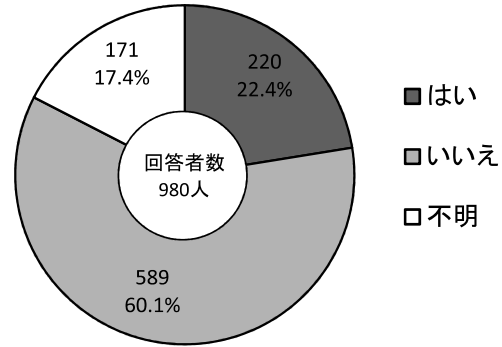
問19 あなたは、今後、収入を伴う仕事をしたいですか。(1つ選択)

1 はい

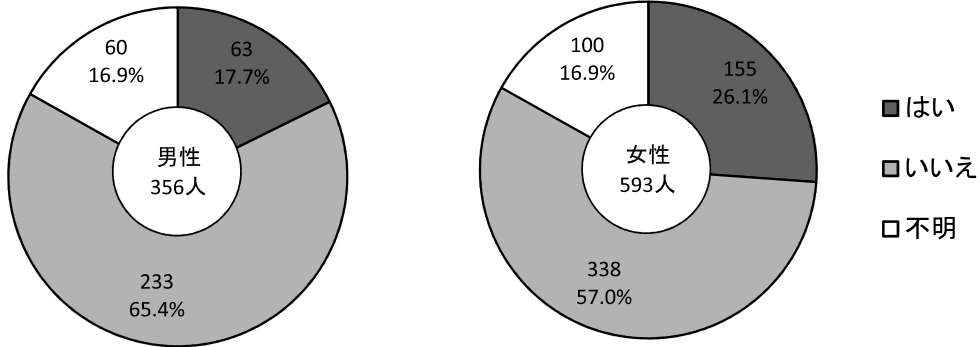
2 いいえ

収入を伴う仕事を持たない回答者は65歳以上が全体の7割以上を占めるため、今後仕事をしたいかについては「いいえ」が60.1%、「はい」が22.4%と、仕事をしたくない人が半数以上となっている。

問19 今後仕事をしたいか



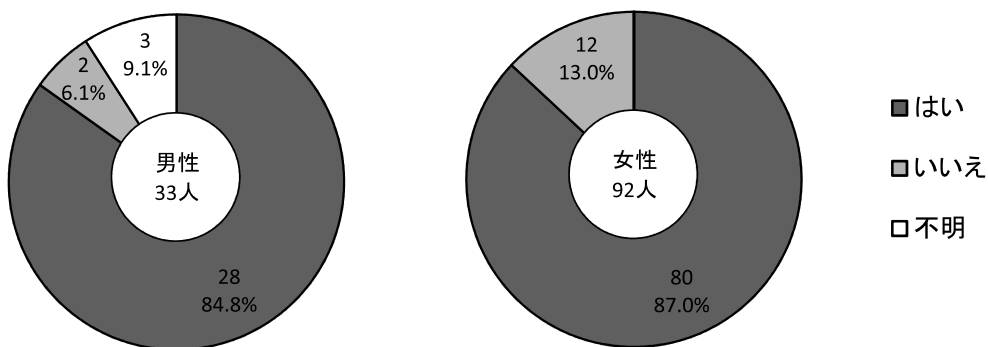
問19 今後仕事をしたいか【男女別】



男女別にみると、男性では「いいえ (仕事をしたくない)」が65.4%、「はい (仕事をしたい)」が17.7%となっているが、女性では「いいえ」が57.0%、「はい」が26.1%で、女性の方が今後仕事をしたいという意向が高くなっている。

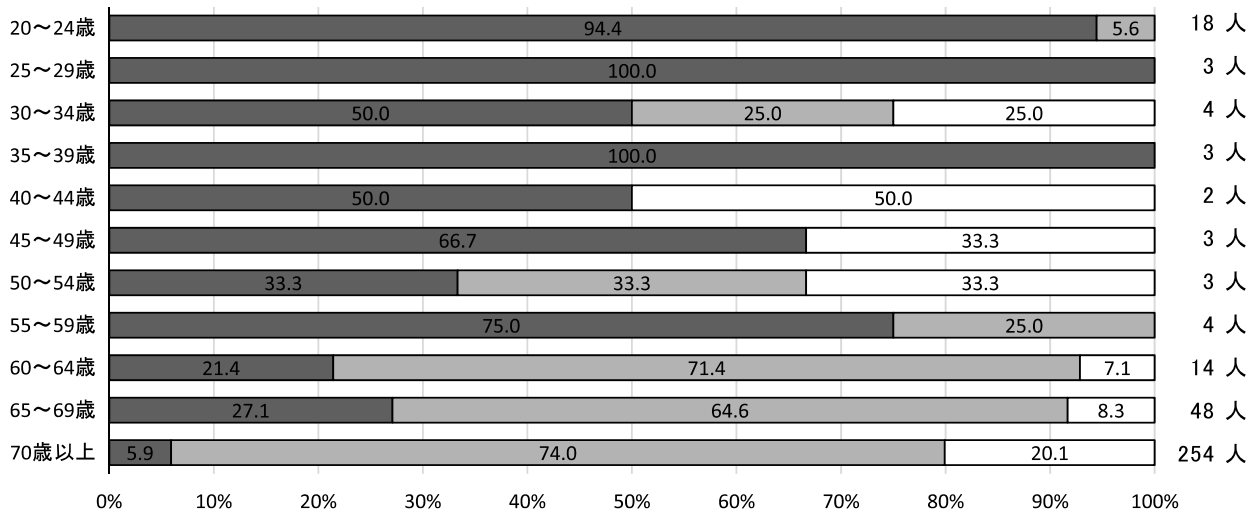
50歳未満でみると、男女共に8割以上が「はい (仕事をしたい)」と回答しており、男性が84.8%、女性が87.0%で、比較的若い世代でも女性の方が若干高くなっている。

問19 今後仕事をしたいか【男女別・50歳未満】

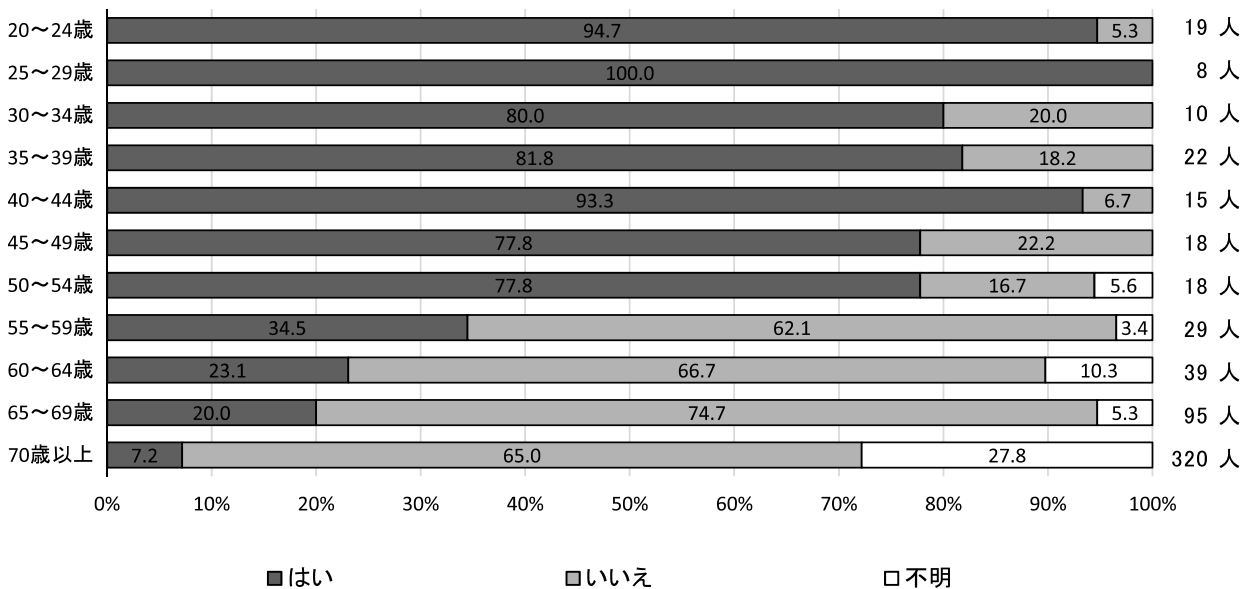


## 問 19 今後仕事をしたいか

### 【男性・年齢別】



### 【女性・年齢別】



男女別・年齢別にみると、男性の65歳未満の年齢層については、対象者が少数のため、割合は参考値だが、65～69歳については3割弱が「はい（仕事をしたい）」と回答しており、定年後も70歳未満では働く意欲のある人が比較的多いことがうかがえる。

一方、女性では、55歳未満の年齢層では7～8割以上が「はい（仕事をしたい）」と回答しており、働く意欲のある女性の人材をいかに活用できるかが、今後課題となると考えられる。

## ア 仕事をしていない理由

【※ 問 19 で「1 はい（仕事をしたい）」と回答した方】

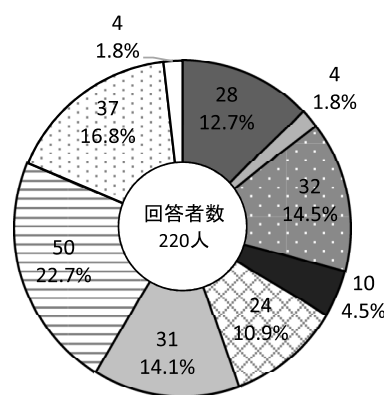
問 19-1 現在は、どのような理由から仕事をしていないのですか。（1つ選択）

- 1 仕事と家庭の両立が難しい
- 2 夫（妻）が仕事をするのを望まない
- 3 自分の条件に合う仕事が見つからない
- 4 自分の技術や資格を生かせる仕事が見つからない
- 5 しばらく仕事から離れていたため、仕事につくのが不安
- 6 就学中または資格取得など準備中
- 7 健康上の理由
- 8 その他（ ）

就業を希望している人が働いていない主な理由については、「健康上の理由」が 22.7%と最も多く、次いで「その他」が 16.8%、「自分の条件に合う仕事が見つからない」が 14.5%、「就学中または資格取得など準備中」が 14.1%となっている。

また、「その他」では、コロナ禍による理由をあげる意見が散見され、今後の課題となると考えられる。

問 19-1 仕事をしていない主な理由



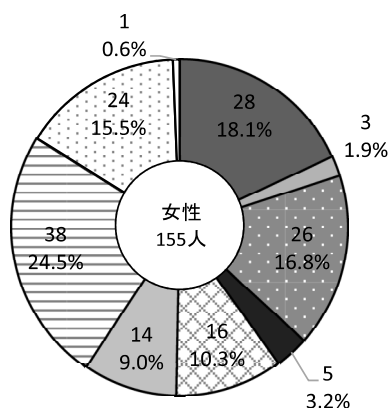
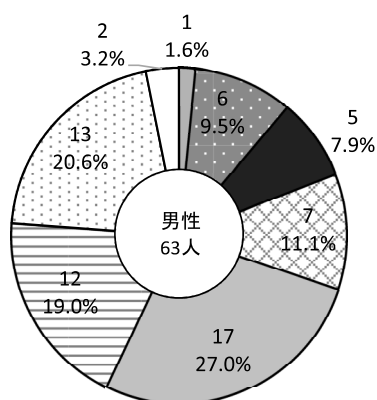
- 仕事と家庭の両立が難しい
- 夫（妻）が仕事をするのを望まない
- 自分の条件に合う仕事が見つからない
- 自分の技術や資格を生かせる仕事が見つからない
- しばらく仕事から離れていたため、仕事につくのが不安
- 就学中または資格取得など準備中
- 健康上の理由
- その他
- 不明

### ■その他の回答（抜粋）

- ・子どもと時間を過ごしたいから
  - ・産後のため
  - ・働いていた時に妊娠が分かった為。子供がある程度の年齢になったら再就職したいと考えている為
  - ・親の介護
  - ・コロナで職を失いました
  - ・コロナ自粛のため不安で仕事を探すのを中断している
  - ・子供が保育園に入れず、仕事を辞めざるをえなかった
  - ・年齢制限で就職が難しい
- など



### 問 19-1 仕事をしていない主な理由【男女別】

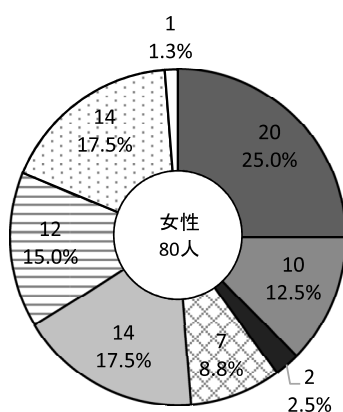
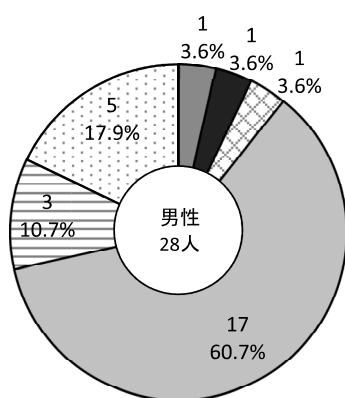


- 仕事と家庭の両立が難しい
- 夫(妻)が仕事をするのを望まない
- 自分の条件に合う仕事が見つからない
- 自分の技術や資格を生かせる仕事が見つからない
- しばらく仕事から離れていたため、仕事につくのが不安
- 就学中または資格取得など準備中
- 健康上の理由
- その他
- 不明

男女別にみると、男性では「就学中または資格取得などの準備中」が27.0%で最も多く、次いで「その他」が20.6%、「健康上の理由」が19.0%となっている。女性では「健康上の理由」が24.5%で最も多く、次いで「仕事と家庭の両立が難しい」が18.1%、「自分の条件に合う仕事が見つからない」が16.8%となっている。

50歳未満でみると、男性では「就学中または資格取得などの準備中」が6割を占めるのに対して、女性は「仕事と家庭の両立が難しい」が25.0%で最も多く、ワーク・ライフ・バランスの難しさがあらわれている。

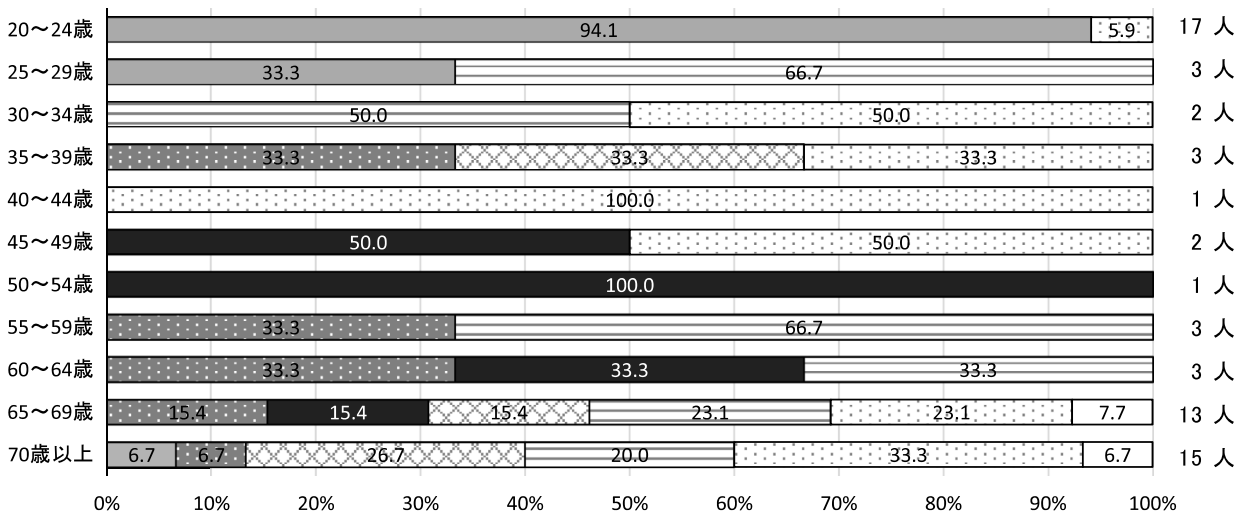
### 問 19-1 仕事をしていない主な理由【男女別・50歳未満】



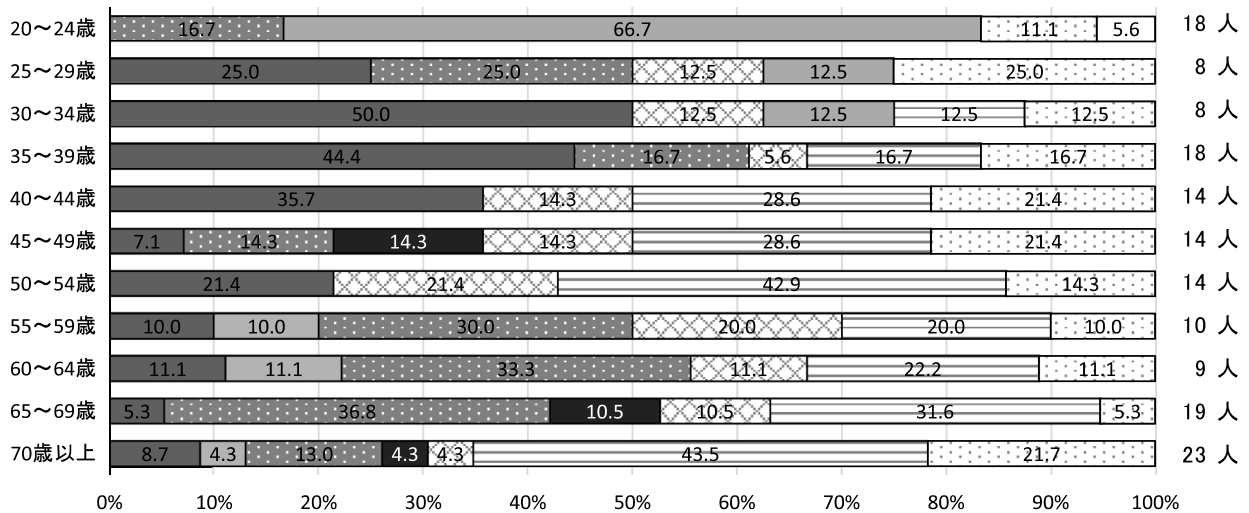
- 仕事と家庭の両立が難しい
- 夫(妻)が仕事をするのを望まない
- 自分の条件に合う仕事が見つからない
- 自分の技術や資格を生かせる仕事が見つからない
- しばらく仕事から離れていたため、仕事につくのが不安
- 就学中または資格取得など準備中
- 健康上の理由
- その他
- 不明

問 19-1 仕事をしていない主な理由

【男性・年齢別】



【女性・年齢別】



- 仕事と家庭の両立が難しい
- 夫(妻)が仕事をするのを望まない
- 自分の条件に合う仕事が見つからない
- 自分の技術や資格を生かせる仕事が見つからない
- しばらく仕事から離れていたため、仕事につくのが不安
- 就学中または資格取得など準備中
- 健康上の理由
- その他
- 不明

男女別・年齢別にみると、男性の65歳未満の年齢層については、対象者が少数のため、割合は参考値だが、65～69歳については、「健康上の理由」などの割合が高くなっている。

一方、女性では、30代や40代前半で、「仕事と家庭の両立が難しい」の割合が高くなっており、ワーク・ライフ・バランスが課題となっている。50代後半や60代では、「自分の条件に合う仕事が見つからない」の割合が高くなっており、人材と仕事のマッチングについて課題があると考えられる。

## イ 仕事につくときの働き方

【※ 問 19 で「1 はい（仕事をしたい）」と回答した方】

問 19-2 仕事につくときは、どんな働き方をしたいですか。（1つ選択）

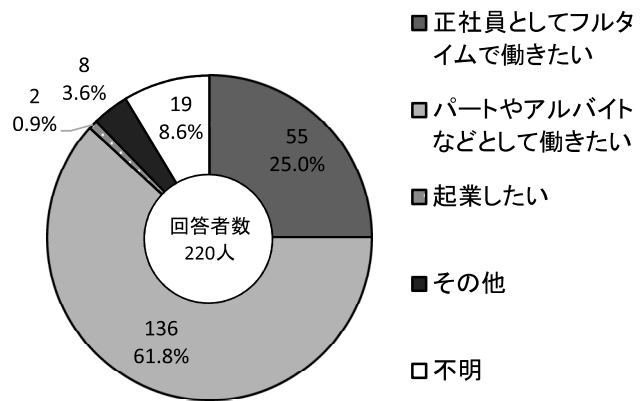
- 1 正社員としてフルタイムで働きたい
- 2 パートやアルバイトなどとして働きたい
- 3 起業したい
- 4 その他（ ）

就職を希望している人が仕事につくときどんな働き方をしたいかについては、「パートやアルバイトなどとして働きたい」が61.8%、「正社員としてフルタイムで働きたい」が25.0%となっている。

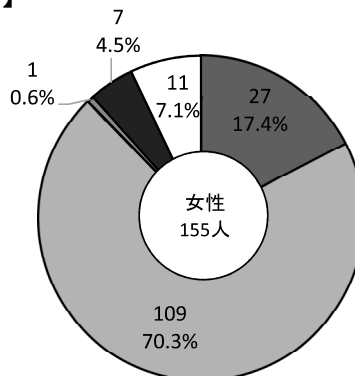
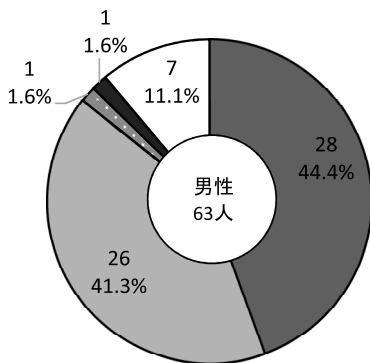
### ■ その他の回答（抜粋）

- ・ 悩み中
- ・ ボランティア
- ・ 在宅ワーク など

問 19-2 仕事につくときの働き方



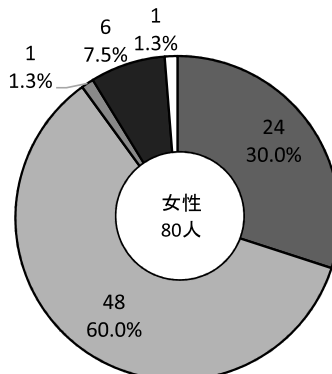
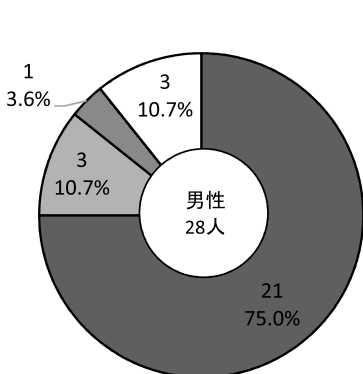
問 19-2 仕事につくときの働き方【男女別】



男女別にみると、男性では「正社員として」が44.4%であるものの、女性では「正社員として」が17.4%と少なく、「パートやアルバイトなどとして」が70.3%となっている。

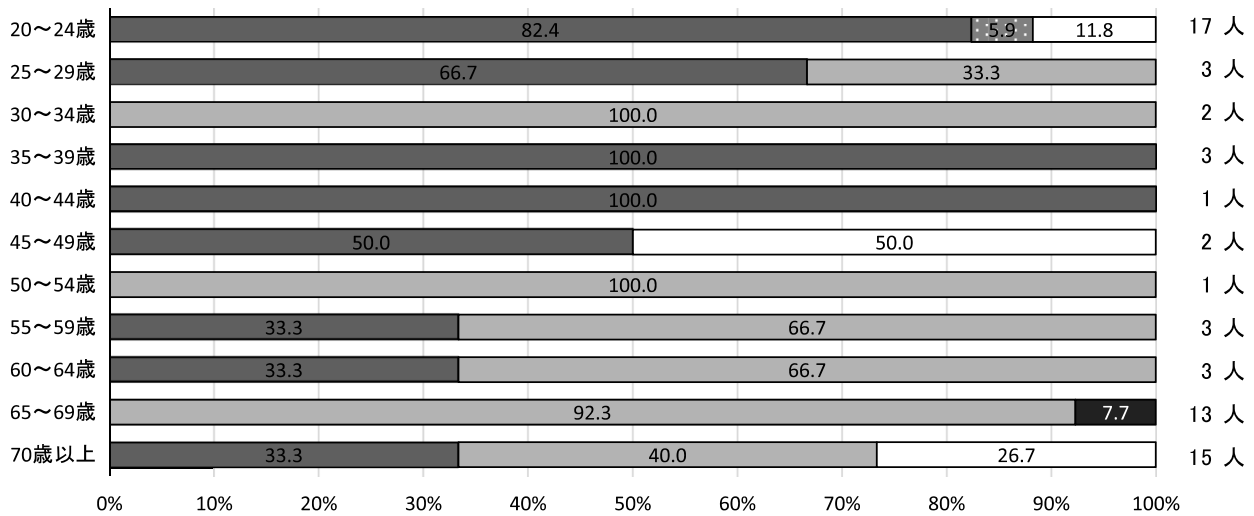
50歳未満でみると、男性では「正社員としてフルタイムで働きたい」が75.0%を占めるのに対して、女性は「正社員として」が30.0%、「パートやアルバイトとして」が60.0%で、パートやアルバイトとして働きたい人の割合が倍となっている。

問 19-2 仕事につくときの働き方【男女別・50歳未満】

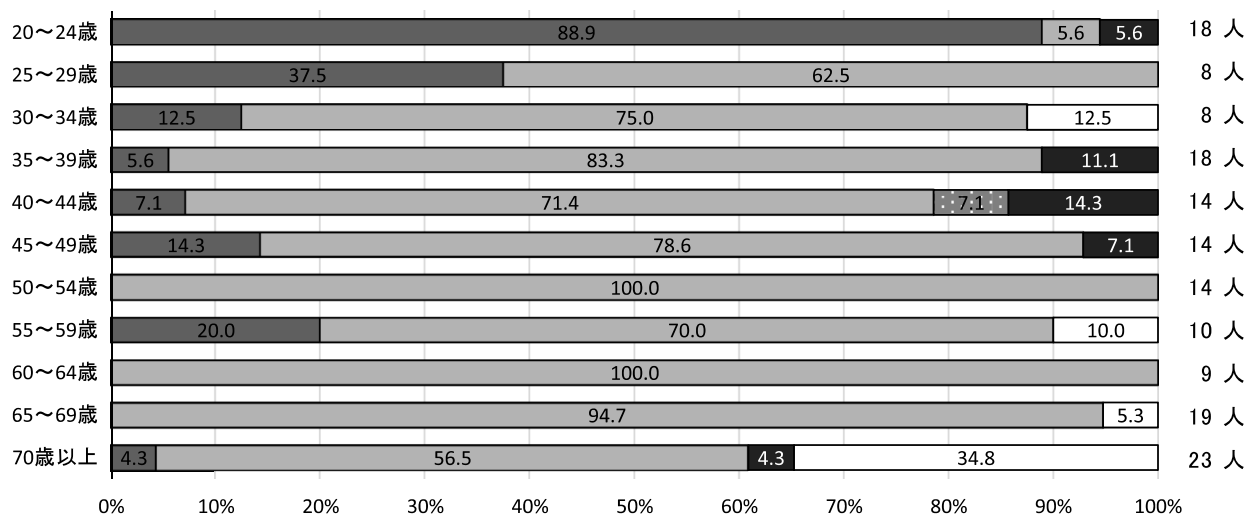


## 問 19-2 仕事につくときの働き方

### 【男性・年齢別】



### 【女性・年齢別】



■ 正社員としてフルタイムで働きたい □ パートやアルバイトなどとして働きたい ■ 起業したい ■ その他 □ 不明

男女別・年齢別にみると、男性の65歳未満の年齢層については、対象者が少数のため、割合は参考値だが、65～69歳については、「パートやアルバイト」の割合が9割となっている。

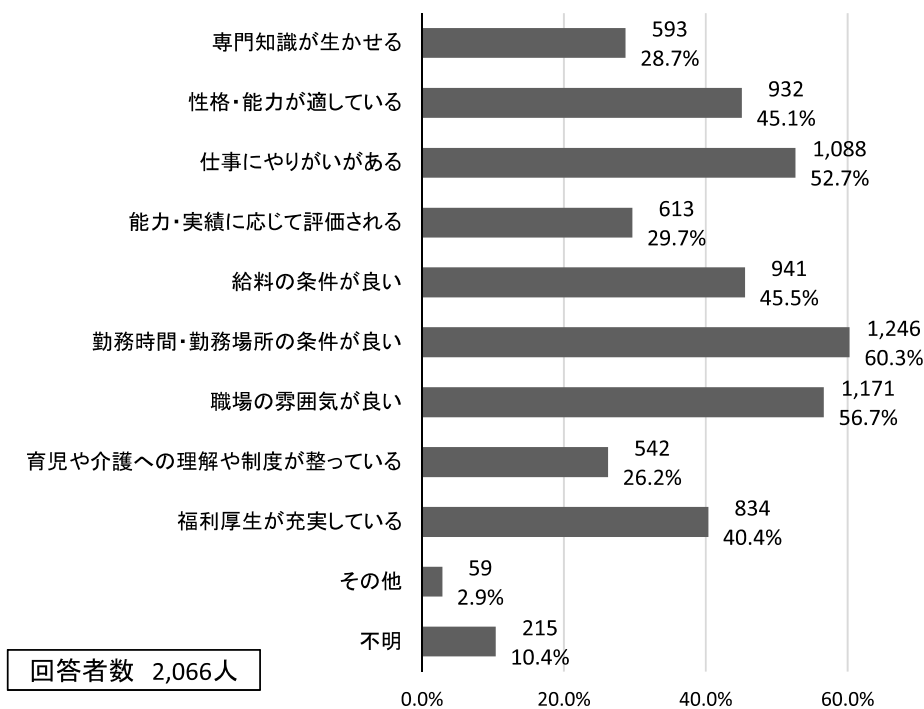
一方、女性では、20代前半では約9割が「正社員」を希望しているが、30代以上の年齢層では7割以上が「パートやアルバイト」を希望しており、家庭生活とのバランスが取りやすい働き方を望んでいる実態がうかがえる。

## (9) 就職する際、重視すること

問 20 あなたが仕事を選ぶとき、重視することは何ですか。(すべて選択)

- |               |                      |
|---------------|----------------------|
| 1 専門知識が活かせる   | 2 性格・能力が適している        |
| 3 仕事にやりがいがある  | 4 能力・実績に応じて評価される     |
| 5 給料の条件が良い    | 6 勤務時間・勤務場所の条件が良い    |
| 7 職場の雰囲気が良い   | 8 育児や介護への理解や制度が整っている |
| 9 福利厚生が充実している | 9 その他 ( )            |

問 20 仕事を選ぶとき、重視すること

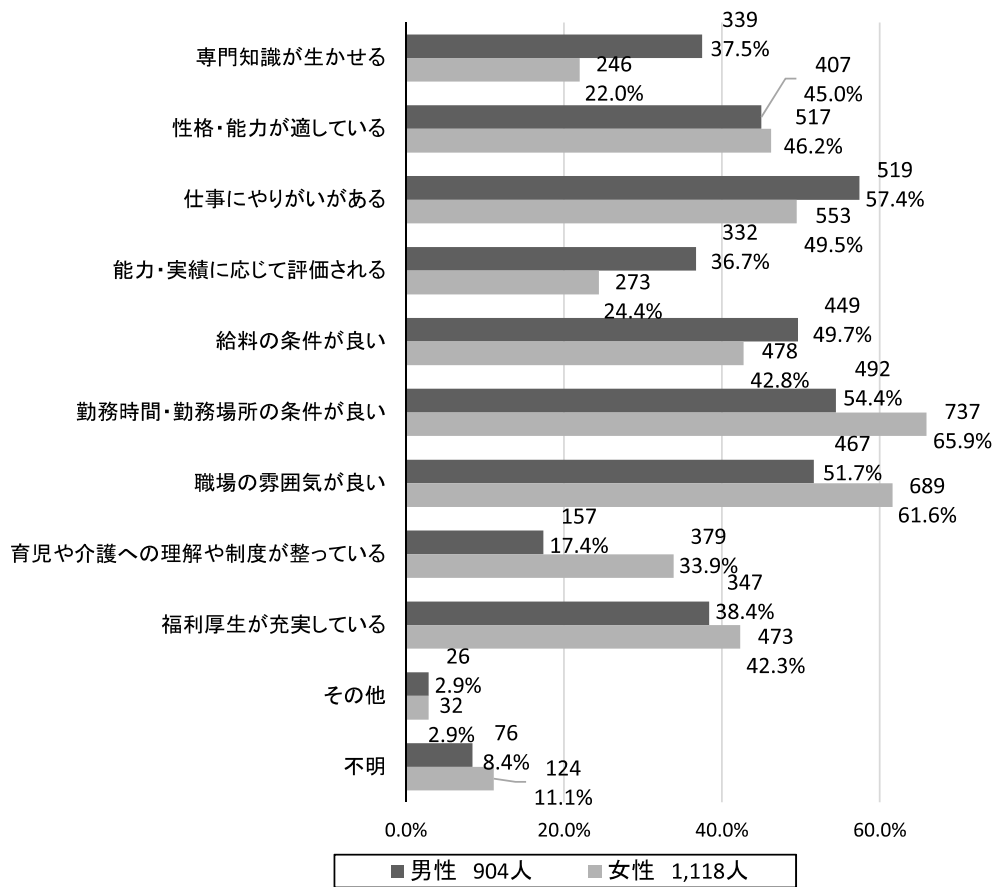


### ■その他の回答（抜粋）

- ・自身の人間的・能力的成長を期待できること
- ・お客様とのお付き合い、会話を楽しんでいる
- ・上司が頼れる
- ・病気についての理解が得られる（通院・入院等）
- ・人間関係
- ・通勤時間
- ・会社の業績
- ・安全
- ・好きな事。世界平和につながるか、価値あるか
- ・自分ができる時に仕事ができる
- ・自分の業務に集中できるような環境である
- など

仕事を選ぶときに重視することをみると、「勤務時間・勤務場所の条件が良い」の割合が全体の60.3%と最も高く、次いで「職場の雰囲気が良い」(56.7%)、「仕事にやりがいがある」(52.7%)といった項目の割合が高くなっている。

問 20 仕事を選ぶとき、重視すること【男女別】



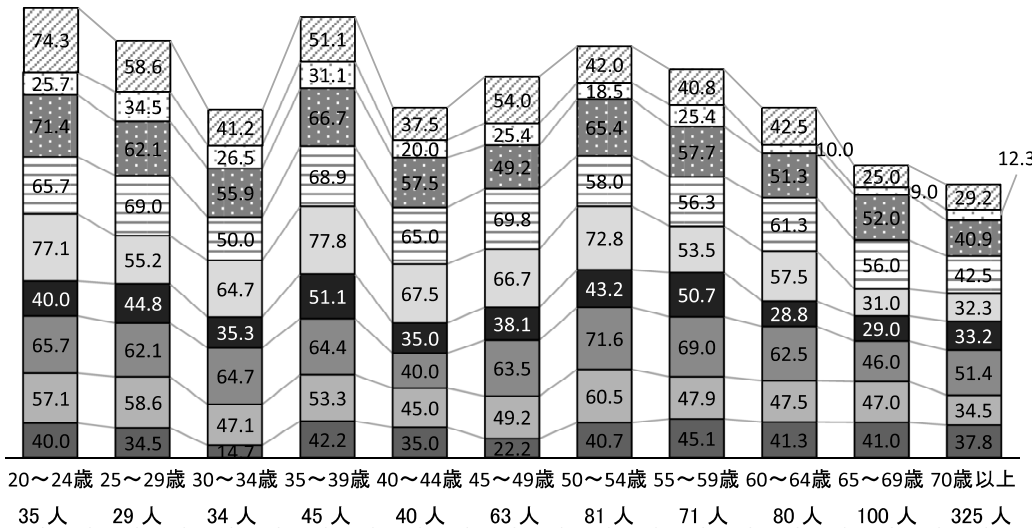
男女別にみると、男性では「仕事にやりがいがある」の割合が最も高く、次いで「勤務時間・勤務場所の条件が良い」、「職場の雰囲気が良い」といった順になっている。

女性では「勤務時間・勤務場所の条件が良い」の割合が最も高く、次いで「職場の雰囲気が良い」となっており、男性は仕事の内容そのものを最も重視し、女性は家庭とバランスよく良好に働ける環境を最も重視しており、仕事に求めるものに男女で違いがあることがわかる。

問 20 仕事を選ぶとき、重視すること

(%)

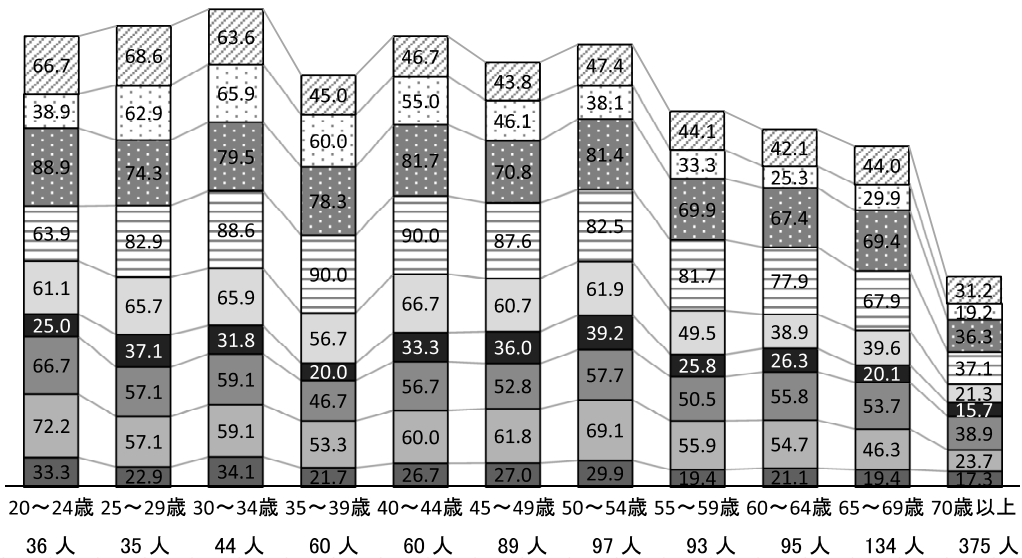
【男性・年齢別】



- 福利厚生が充実している
- 育児や介護への理解や制度が整っている
- 職場の雰囲気が良い
- 勤務時間・勤務場所の条件が良い
- 給料の条件が良い
- 能力・実績に応じて評価される
- 仕事にやりがいがある
- 性格・能力が適している
- 専門知識が生かせる

【女性・年齢別】

(%)



- 福利厚生が充実している
- 育児や介護への理解や制度が整っている
- 職場の雰囲気が良い
- 勤務時間・勤務場所の条件が良い
- 給料の条件が良い
- 能力・実績に応じて評価される
- 仕事にやりがいがある
- 性格・能力が適している
- 専門知識が生かせる

男女別・年齢別にみると、男性では、55歳未満で「給料の条件が良い」の割合が高くなっており、現役世代では経済的な部分が重視されている傾向にある。「仕事にやりがいがある」については、特に50代で7割と高くなっている。

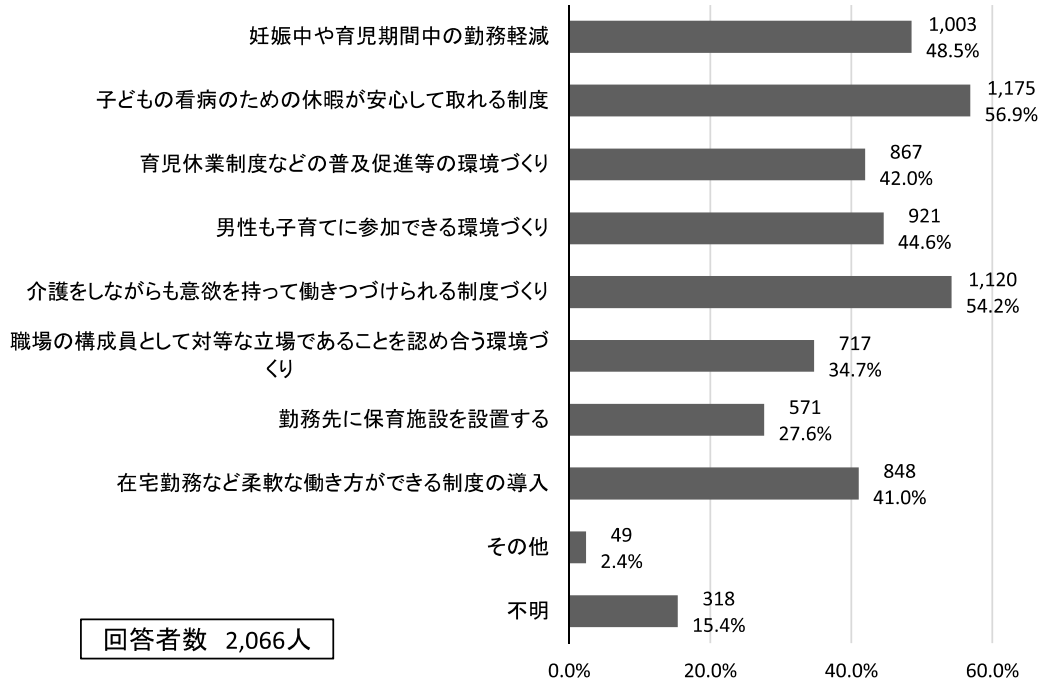
女性では、30代・40代で「勤務時間・勤務場所の条件が良い」の割合が高くなっており、特に勤務しやすさが重視されていることがうかがえる。「職場の雰囲気が良い」については、55歳未満の年齢層で概ね8割近くと高くなっている。

## (10) 仕事と生活を両立するために必要な支援

問 21 あなたは、一般的に仕事と生活を両立するためには、企業や事業所は従業員に対してどのような支援を充実するべきだと思いますか。(すべて選択)

- 1 妊娠中や育児期間中の勤務軽減
- 2 子どもの看病のための休暇が安心して取れる制度
- 3 育児休業制度などの普及促進等の環境づくり
- 4 男性も子育てに参加できる環境づくり
- 5 介護をしながらも意欲を持って働きつづけられる制度づくり
- 6 職場の構成員として対等な立場であることを認め合う環境づくり
- 7 勤務先に保育施設を設置する
- 8 在宅勤務など柔軟な働き方ができる制度の導入
- 9 その他 ( )

### 問 21 仕事と生活を両立するために必要な支援



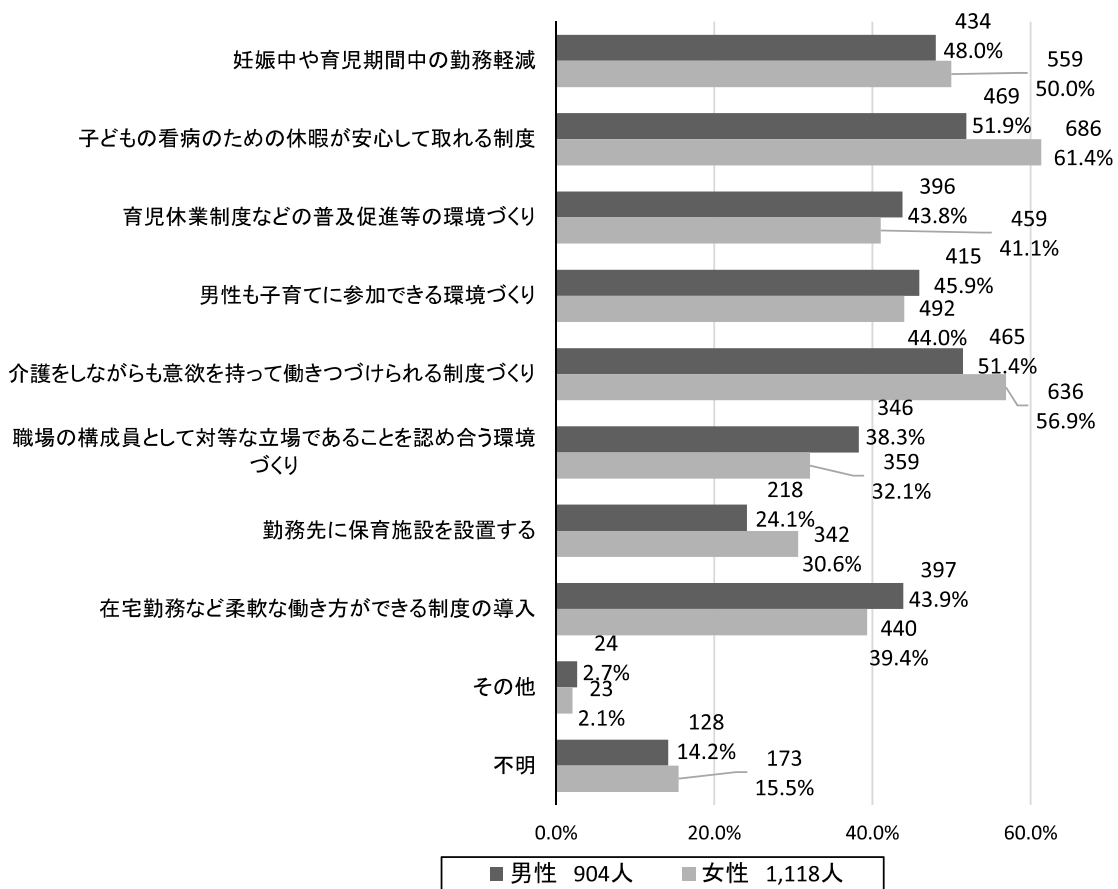
#### ■その他の回答 (抜粋)

- ・企業というより、公的な対応となるが、病院と提携した病児保育が必要
- ・業務厳選により、勤務時間を削減
- ・健康管理、各種人間ドックの推進・受診
- ・誰が休んでも会社に影響が出ない社員育成
- ・人を増やして1人あたりの仕事を減らし、早く帰れるようにする
- ・遠隔地での業務遂行 など

仕事と生活を両立するために企業や事業者求められる支援をみると、「子どもの看病のための休暇が安心して取れる制度」が全体の56.9%と最も多く、次いで「介護をしながらも意欲を持って働きつづけられる制度づくり」(54.2%)、「妊娠中や育児期間中の勤務軽減」(48.5%)などとなっている。



問 21 仕事と生活を両立するために必要な支援【男女別】

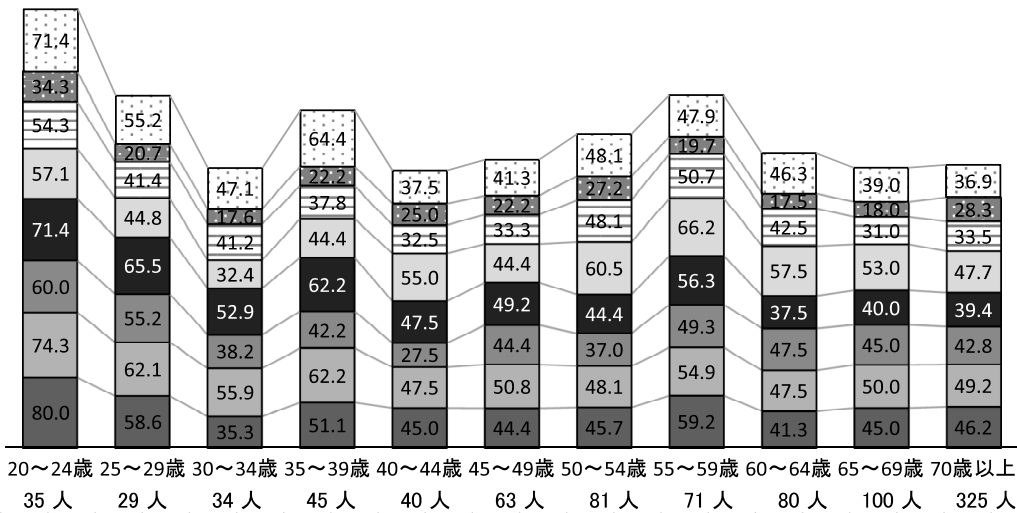


男女別にみると、男性では「子どもの看病のための休暇が安心して取れる制度」と「介護をしながらも意欲を持って働きつづけられる制度づくり」の割合がほぼ同率で5割を超えて高くなっている。

女性では「子どもの看病のための休暇が安心して取れる制度」の割合が6割で最も高く、次いで「介護をしながらも意欲を持って働きつづけられる制度づくり」、「妊娠中や育児期間中の勤務軽減」となっており、女性は男性以上に子育てや介護との両立のための支援を求めていることがうかがえる。

問 21 仕事と生活を両立するために必要な支援

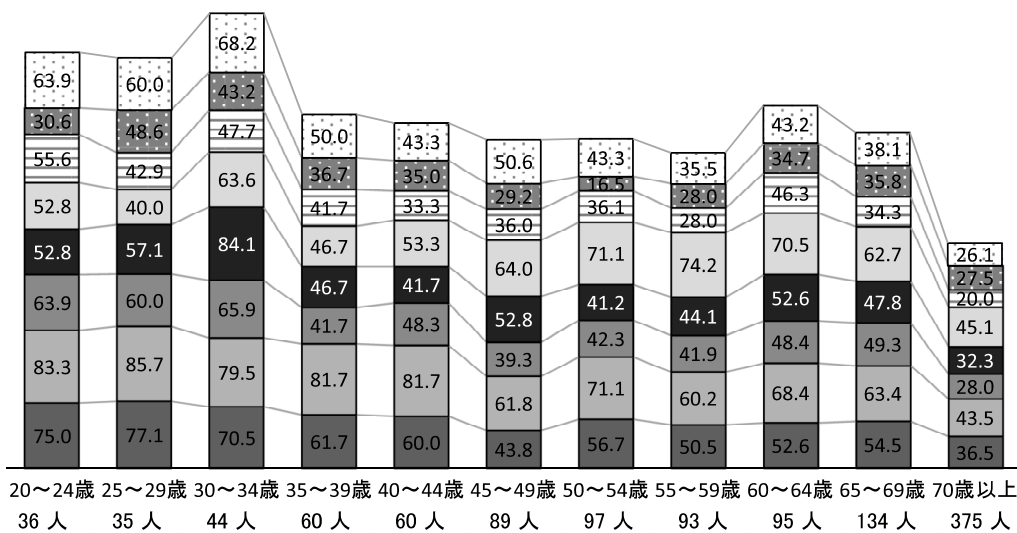
【男性・年齢別】



(%)

- 在宅勤務など柔軟な働き方ができる制度の導入
- 勤務先に保育施設を設置する
- 職場の構成員として対等な立場であることを認め合う環境づくり
- 介護をしながらも意欲を持って働きつづけられる制度づくり
- 男性も子育てに参加できる環境づくり
- 育児休業制度などの普及促進等の環境づくり
- 子どもの看病のための休暇が安心して取れる制度
- 妊娠中や育児期間中の勤務軽減

【女性・年齢別】



(%)

- 在宅勤務など柔軟な働き方ができる制度の導入
- 勤務先に保育施設を設置する
- 職場の構成員として対等な立場であることを認め合う環境づくり
- 介護をしながらも意欲を持って働きつづけられる制度づくり
- 男性も子育てに参加できる環境づくり
- 育児休業制度などの普及促進等の環境づくり
- 子どもの看病のための休暇が安心して取れる制度
- 妊娠中や育児期間中の勤務軽減

男女別・年齢別にみると、男性では、20代・30代で「男性も子育てに参加できる環境づくり」や「子どもの看病のための休暇が安心して取れる制度」の割合が高くなっており、若い世代では子育てとの両立を支援する制度を求める意向が強くなっている。一方、50代では「介護をしながらも意欲を持って働きつづけられる制度づくり」が6割を超え高くなっている。

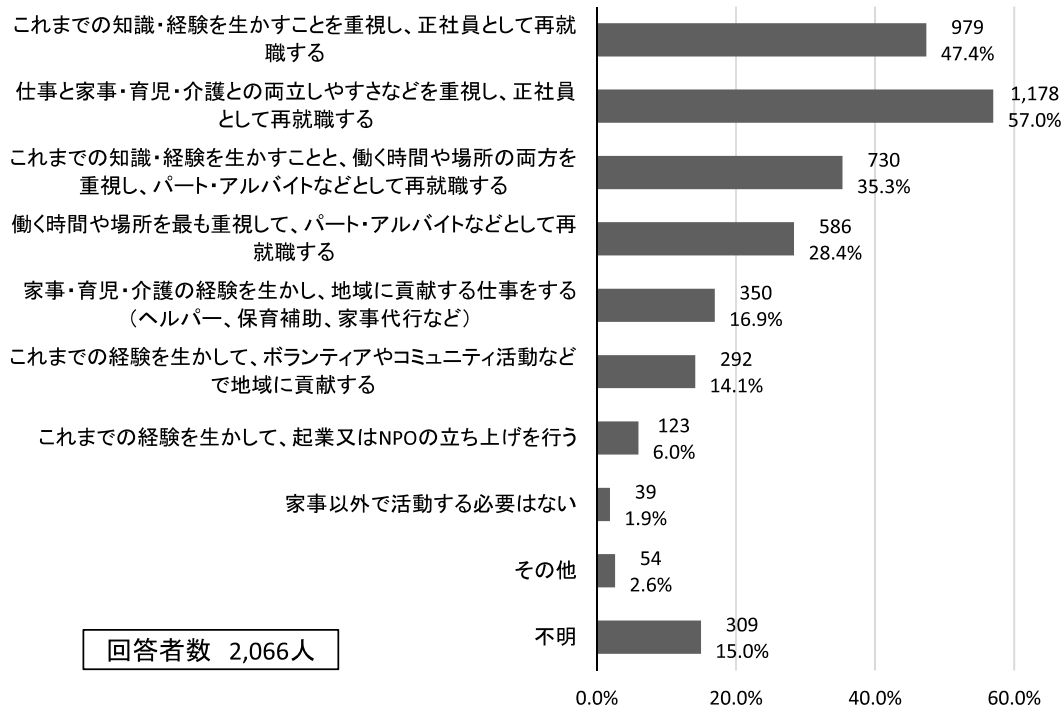
女性では、20代・30代、40代前半の若い世代で「子どもの看病のための休暇が安心して取れる制度」や「妊娠中や育児期間中の勤務軽減」を求める割合が高くなっている。一方、50代や60代前半では「介護をしながらも意欲を持って働きつづけられる制度づくり」が7割を超え高くなっている。

## (11) 離職した女性の社会活動復帰

問 22 出産などで離職した女性が再び社会で活動する仕方として、あなたがいいと思うものはどれですか。(すべて選択)

- 1 これまでの知識・経験を生かすことを重視し、正社員として再就職する
- 2 仕事と家事・育児・介護との両立しやすさなどを重視し、正社員として再就職する
- 3 これまでの知識・経験を生かすことと、働く時間や場所の両方を重視し、パート・アルバイトなどとして再就職する
- 4 働く時間や場所を最も重視して、パート・アルバイトなどとして再就職する
- 5 家事・育児・介護の経験を生かし、地域に貢献する仕事をする(ヘルパー、保育補助、家事代行など)
- 6 これまでの経験を生かして、ボランティアやコミュニティ活動などで地域に貢献する
- 7 これまでの経験を生かして、起業又はNPOの立ち上げを行う
- 8 家事以外で活動する必要はない
- 9 その他( )

### 問 22 離職した女性の社会活動復帰の仕方



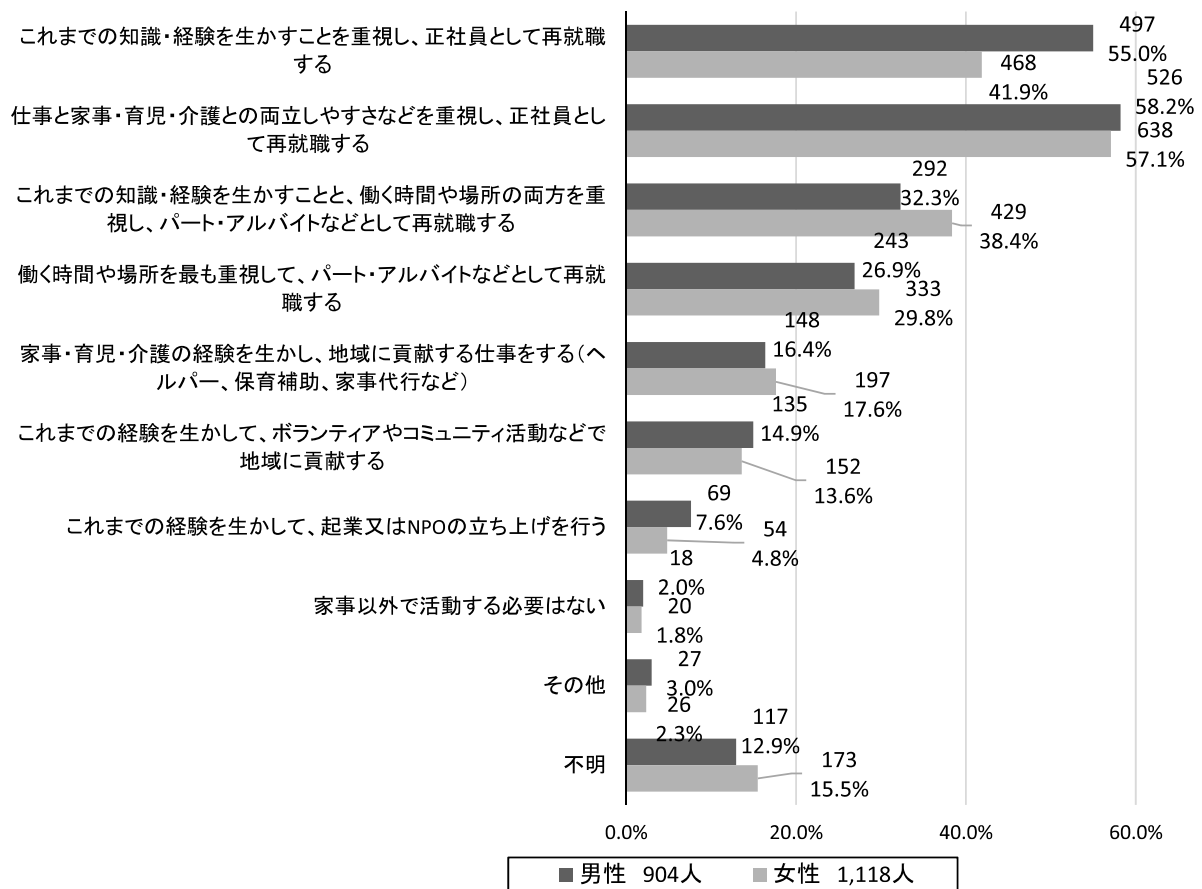
#### ■その他の回答(抜粋)

- ・その人各々で違うので、その人に合ったものを選べばいい
- ・すべての選択が出来る事が「良い」と考えます。個人個人が自由に選べるべき
- ・本人が子どもを言いわけにしないこと
- ・雇用先と女性が話し合えばよいと思う
- ・社会活動に参画することは、それに応じた義務も生じるので、それを理解して選択すべき
- ・知識・経験・趣味・ネットワーク等を生かしてプチ起業。現在の社会に縛られなくても良いのでは など

離職した女性の社会活動復帰の仕方として良いと思うものをみると、「仕事と家事・育児・介護との両立しやすさなどを重視し、正社員として再就職する」の割合が全体の57.0%と最も高く、次いで「これまでの知識・経験を生かすことと、働く時間や場所の両方を重視し、パート・アルバイトなどとして再就職する」が47.4%となっている。

「その他」では、「その人各々で違うので、その人に合ったものを選ばばいい」等の意見が多く挙がっている。

## 問 22 離職した女性の社会活動復帰の仕方【男女別】

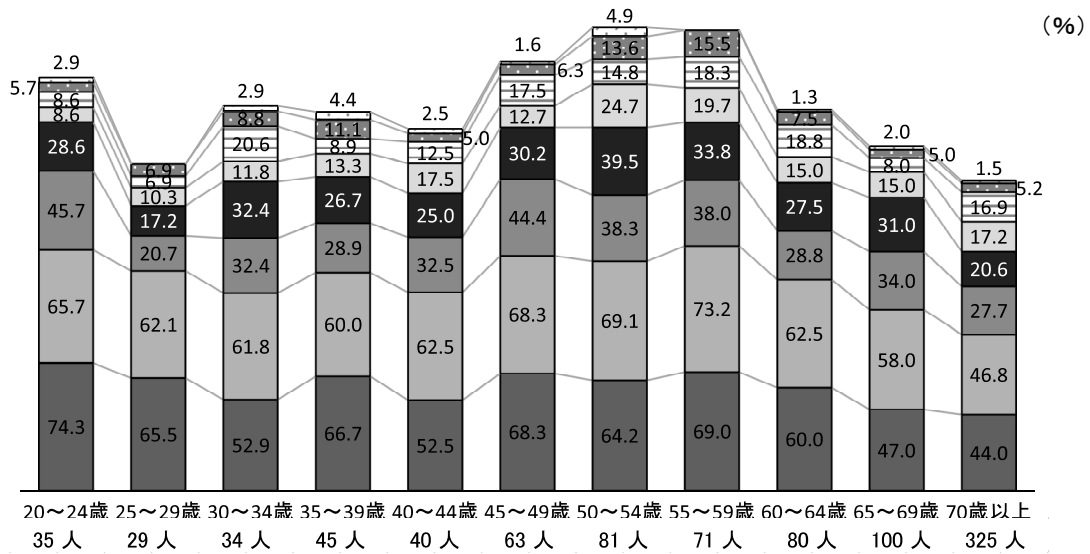


男女別にみると、男性では「仕事と家事・育児・介護との両立しやすさなどを重視し、正社員として再就職する」が6割で最も高く、次いで「これまでの知識・経験を生かすことを重視し、正社員として再就職する」が5割を超えて高くなっている。

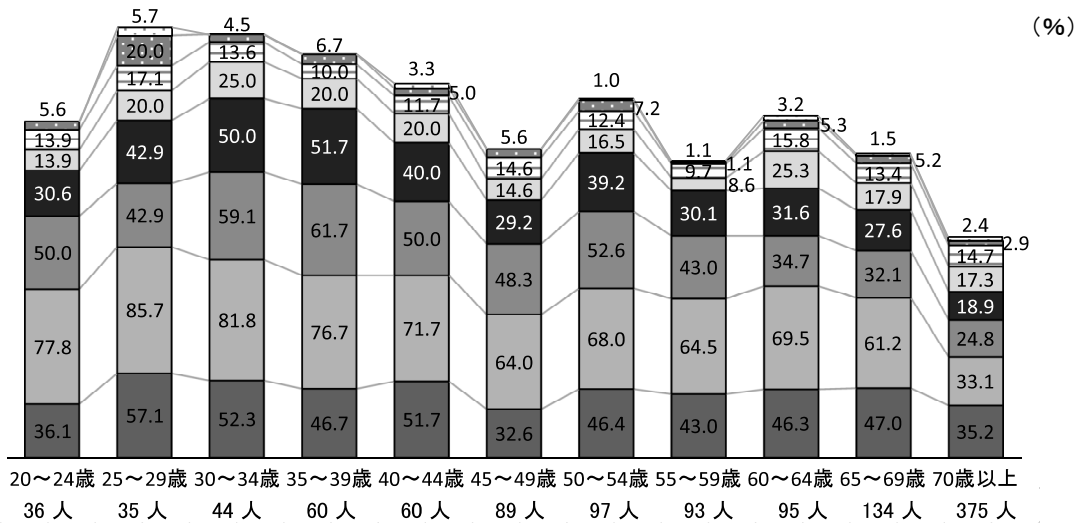
一方、女性では男性と同様に「仕事と家事・育児・介護との両立しやすさなどを重視し、正社員として再就職する」が6割弱で最も高く、次いで「これまでの知識・経験を生かすことを重視し、正社員として再就職する」となっているが、男性よりも割合が低く、「これまでの知識・経験を生かすことと、働く時間や場所の両方を重視し、パート・アルバイトなどとして再就職する」も4割近くとなっており、女性は正社員にこだわらない人も多いことがうかがえる。

問 22 離職した女性の社会活動復帰の仕方

【男性・年齢別】



【女性・年齢別】



- 家事以外で活動する必要はない
- これまでの経験を生かして、起業又はNPOの立ち上げを行う
- これまでの経験を生かして、ボランティアやコミュニティ活動などで地域に貢献する
- 家事・育児・介護の経験を生かし、地域に貢献する仕事をする(ヘルパー、保育補助、家事代行など)
- 働く時間や場所を最も重視して、パート・アルバイトなどとして再就職する
- これまでの知識・経験を生かすことと、働く時間や場所の両方を重視し、パート・アルバイトなどとして再就職する
- 仕事と家事・育児・介護との両立しやすさなどを重視し、正社員として再就職する
- これまでの知識・経験を生かすことを重視し、正社員として再就職する

男女別・年齢別にみると、男性では、20代から50代までのどの年齢層でも「正社員」が良いと思う割合が概ね高くなっている。

女性では、20代から40代前半くらいまでの比較的若い年齢層では「正社員」の割合が高いものの「仕事と家事・育児・介護との両立しやすさなどを重視」という項目の割合が高くなっており、仕事とバランスの取りやすい「パート・アルバイト」としての再就職も選ばれている。

## (12) 離職経験

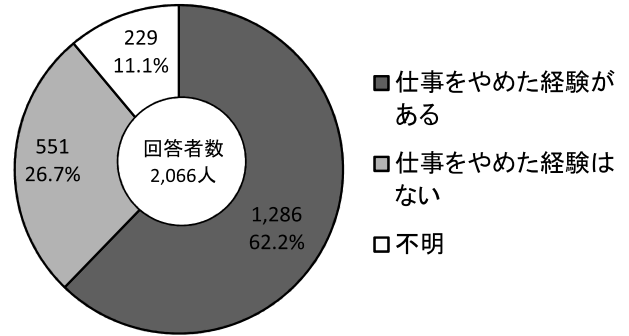
### ア 仕事をやめた経験の有無

問 23 あなたは、仕事をやめた経験がありますか。(1つ選択)

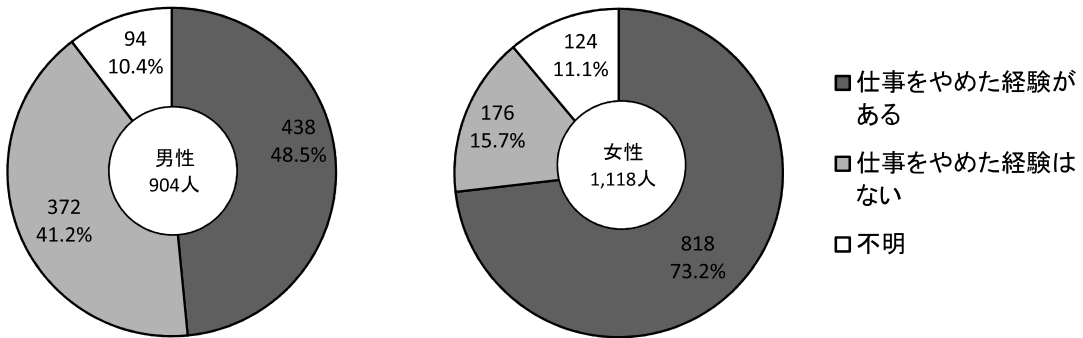
- 1 仕事をやめた経験がある                      2 仕事をやめた経験はない

仕事をやめた経験について、回答者全体では「仕事をやめた経験がある」が62.2%、「仕事をやめた経験はない」が26.7%となっている。

問 23 仕事をやめた経験



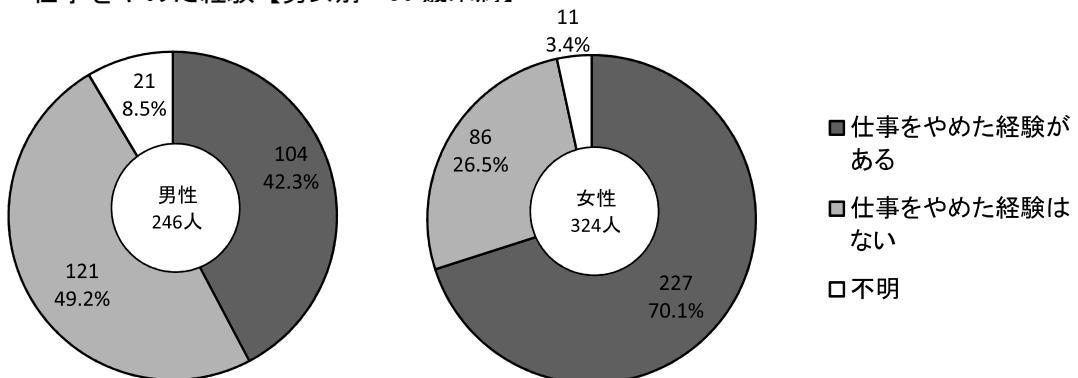
問 23 仕事をやめた経験【男女別】



男女別にみると、男性では「仕事をやめた経験がある」が48.5%であるものの、女性では73.2%とやめた経験のある人の割合が高くなっている。

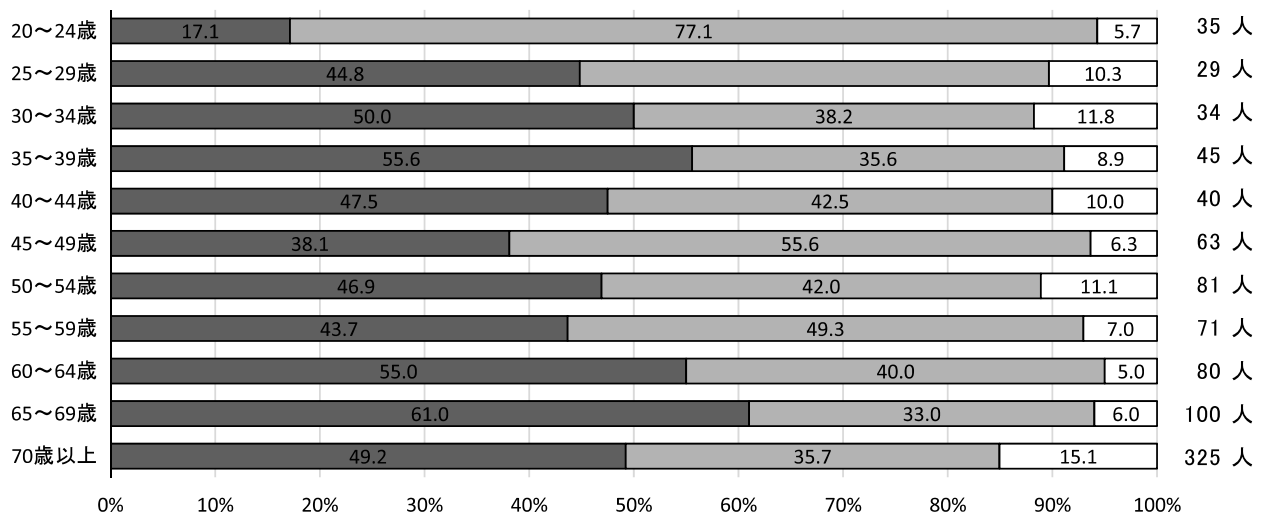
50歳未満でみると、男性では「仕事をやめた経験がある」が42.3%、「仕事をやめた経験がない」が49.2%で、やめた経験のない人の割合が高くなっている。女性では、「仕事をやめた経験がある」が7割と圧倒的に多く、比較的若い年代でも離職経験者が多数いることがみてとれる。

問 23 仕事をやめた経験【男女別・50歳未満】

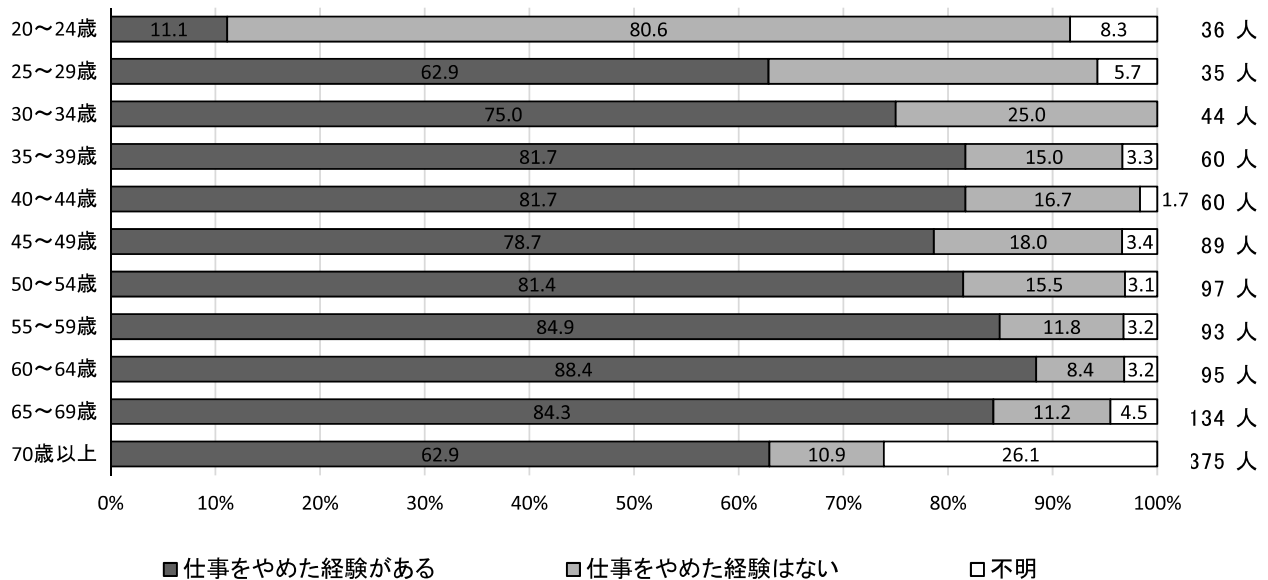


## 問 23 仕事をやめた経験

### 【男性・年齢別】



### 【女性・年齢別】

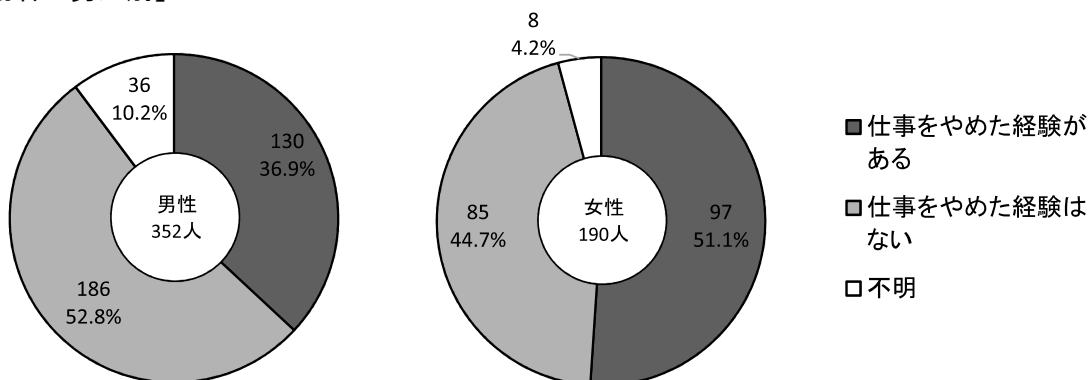


男女別・年齢別にみると、男性では、20代後半から50代の現役の年齢層では、「仕事をやめた経験がある」と「仕事をやめた経験はない」の割合が、概ね半数ずつとなっており、終身雇用制度が崩れつつあることや、非正規雇用が多くなっていることが関係しているものと考えられる。

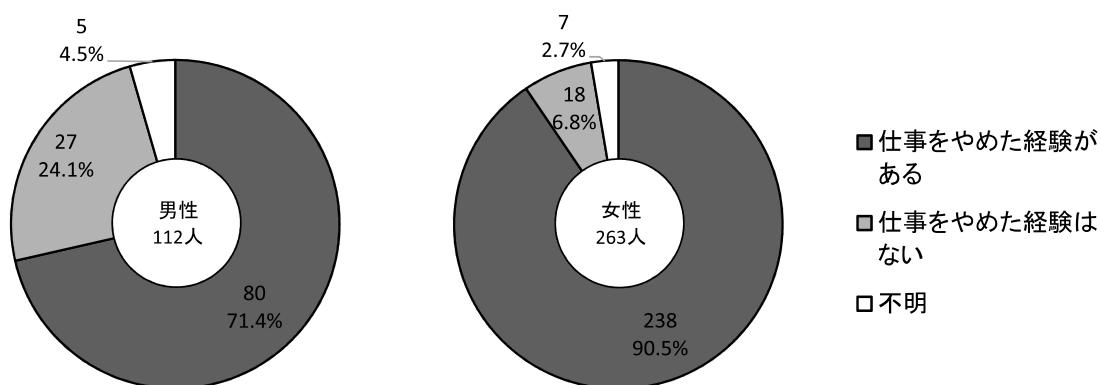
一方、女性では、30代以上の年齢層で「仕事をやめた経験がある」割合が7割を超えており、女性は結婚や出産などのライフイベントに合わせて、仕事をやめざるを得ない状況が発生していることがうかがえる。

問 23 仕事をやめた経験

【正規雇用者・男女別】



【非正規雇用者・男女別】



就労形態別・男女別にみると、正規雇用者の場合、男性は4割弱が「仕事をやめた経験がある」と回答しているが、女性は5割の人が「仕事をやめた経験がある」と回答しており、女性のほうが1割程度高い割合となっている。

また、非正規雇用者（パート・アルバイト・嘱託）の場合、男女共に正規雇用者よりも「やめた経験がある」割合が高くなっている。男性は7割が「やめた経験がある」と回答しており、女性はさらに高く9割が「やめた経験がある」と回答している。



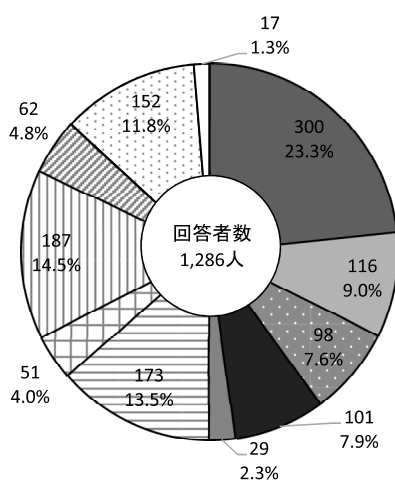
## イ 仕事をやめた理由

【※ 問 23 で「1 仕事をやめた経験がある」と回答した方】

問 23-1 あなたが仕事をやめた理由は何ですか。(1つ選択)

- |                           |                  |
|---------------------------|------------------|
| 1 任期满了・定年等                | 2 健康上の理由         |
| 3 会社の都合による解雇等             | 4 仕事と家庭の両立が難しかった |
| 5 配偶者（夫・妻）が仕事をするのを望まなかった  |                  |
| 6 家事や育児に専念したかった           | 7 家族の介護のため       |
| 8 別の仕事や活動をしたかった           |                  |
| 9 ハラスメント（セクハラ・パワハラ等）による離職 |                  |
| 10 その他（                   | ）                |

問 23-1 仕事をやめた理由



- 任期满了・定年等
- 健康上の理由
- 会社の都合による解雇等
- 仕事と家庭の両立が難しかった
- 配偶者（夫・妻）が仕事をするのを望まなかった
- 家事や育児に専念したかった
- 家族の介護のため
- 別の仕事や活動をしたかった
- ハラスメント（セクハラ・パワハラ等）による離職
- その他
- 不明

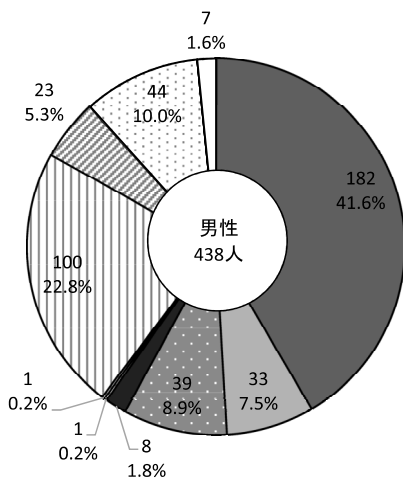
### ■ その他の回答（抜粋）

- ・結婚のため引っ越し
- ・昔は結婚退職の時代だったため
- ・出産のため
- ・人間関係（同僚や上司との）が上手くいかない
- ・故郷に帰るため
- ・専業主婦を自ら希望
- ・自営開業の為
- ・会社の待遇への不満
- ・移住した為
- ・配偶者の転勤
- ・スキルアップのため
- など

仕事をやめたことがある回答者について、やめた理由をみると、「任期满了・定年等」が 23.3%で最も多く、次いで「別の仕事や活動をしたかった」が 14.5%、「家事や育児に専念したかった」が 13.5%となっている。

また、「その他」も 11.8%と比較的高い割合だが、その内容として「結婚のため引っ越し」や、「配偶者の転勤」といった回答が多くなっている。

問 23-1 仕事をやめた理由【男女別】



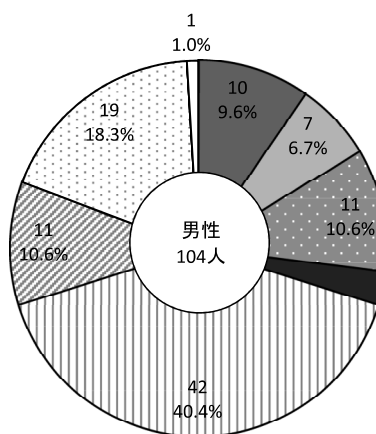
- 任期満了・定年等
- 健康上の理由
- 会社の都合による解雇等
- 仕事と家庭の両立が難しかった
- 配偶者(夫・妻)が仕事をするのを望まなかった
- 家事や育児に専念したかった
- 家族の介護のため
- 別の仕事や活動をしたかった
- ハラスメント(セクハラ・パワハラ等)による離職
- その他
- 不明

男女別にみると、男性では「任期満了・定年等」が41.6%で最も多く、次いで「別の仕事や活動をしたかった」が22.8%となっている。女性では「家事や育児に専念したかった」が21.0%で最も多く、次いで「任期満了・定年等」が13.2%、「仕事と家庭の両立が難しかった」が11.0%となっている。

50歳未満でみると、男性では「別の仕事や活動をしたかった」が40.4%で最も高く、転職などが大きな理由となっている。

女性では、「家事や育児に専念したかった」が25.1%で最も高く、「仕事と家庭の両立が難しかった」も比較的高い割合となっており、家庭生活が仕事の継続に大きな影響を与えていることがわかる。

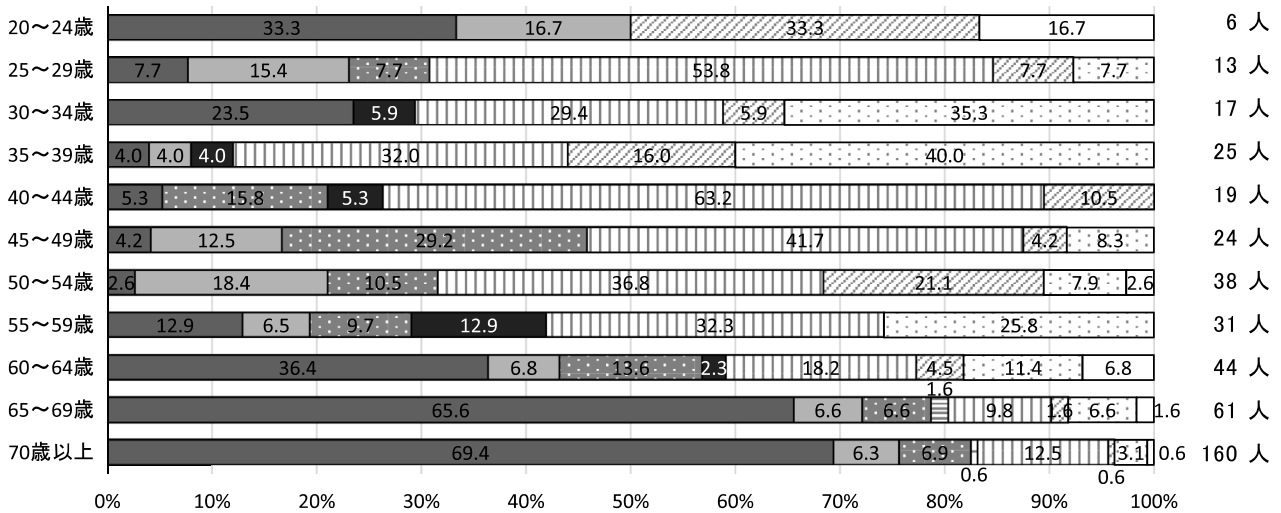
問 23-1 仕事をやめた理由【男女別・50歳未満】



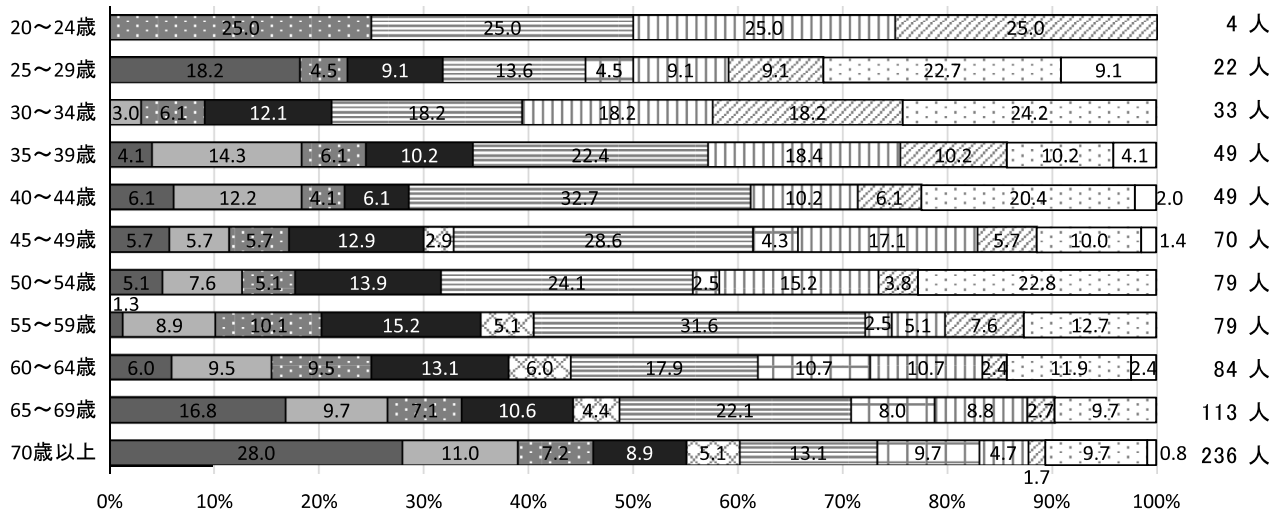
- 任期満了・定年等
- 健康上の理由
- 会社の都合による解雇等
- 仕事と家庭の両立が難しかった
- 配偶者(夫・妻)が仕事をするのを望まなかった
- 家事や育児に専念したかった
- 家族の介護のため
- 別の仕事や活動をしたかった
- ハラスメント(セクハラ・パワハラ等)による離職
- その他
- 不明

## 問 23 仕事をやめた理由

### 【男性・年齢別】



### 【女性・年齢別】



- 任期満了・定年等
- 会社の都合による解雇等
- 配偶者(夫・妻)が仕事をするのを望まなかった
- 家族の介護のため
- ハラスメント(セクハラ・パワハラ等)による離職
- 不明
- 健康上の理由
- 仕事と家庭の両立が難しかった
- 家事や育児に専念したかった
- 別の仕事や活動をしたかった
- その他

男女別・年齢別にみると、男性では、20代後半から50代までの現役世代の年齢層で「別の仕事や活動をしたかった」割合が高くなっている。

一方、女性では、20代から60代までの幅広い年齢層で「家事や育児に専念したかった」割合が高くなっており、「仕事と家庭の両立が難しかった」も含めると、女性の仕事は家庭環境に大きく左右されていることがうかがえる。